



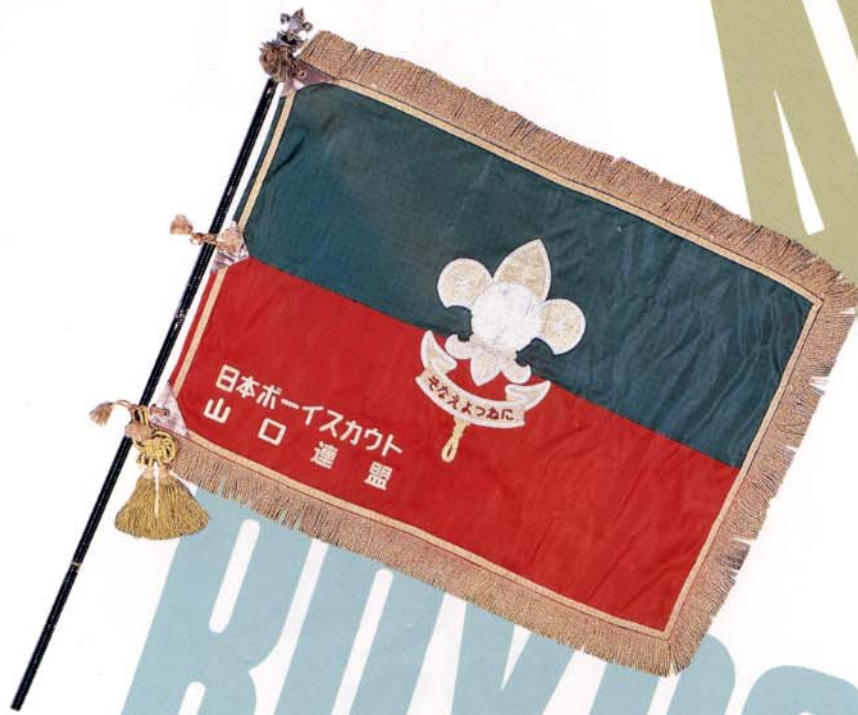
BOYSCOUT YAMAGUCHIKENRENMEI 40th  
ボーイスカウト山口県連盟40周年

この10年のあゆみ



BOYSCOUT

# 伝統に輝く山口県連盟旗



## 連盟歌

### 『百万一心の歌』

BS岩国1団古巣の会・詞  
村上 智 真・曲

一、花の心を 歌にのせ

百万一心 わが胸に

歌おう健児の 防長賦

いざいざスカウト われらが

連盟山口「山口」 光あり

二、手と手をつなぐ 友情の

目指す幟に 父祖の夢

三矢の訓 永久に

いざいざスカウト われらが

連盟山口「山口」 誇あり

三、世界を結ぶ この三指

捧げて悔いん 人のため

防長健児の 意気しめそ

いざいざスカウト われらが

連盟山口「山口」 名誉あり

40th

ボーイスカウト山口県連盟創立40周年



も く じ

連盟長・副連盟長・理事長・県コミッショナーの言葉 .....	2
40周年記念野営大会に参加して .....	4
我ら防長健児 .....	19
たのしかった野営大会 .....	20
楽しかった思い出 .....	30
アンケート調査 .....	31
40周年ボーイスカウト山口県連盟この10年のあゆみ.....	34
歴代県連盟役員名簿 .....	40
栄光ある叙勲・褒章受章者 .....	42
登録状況一覧 .....	48
10年の部門別隊数の増減 .....	55
あとがき .....	60





## ボーイスカウト山口県連盟40周年



ボーイスカウト山口県連盟長  
山口県知事

平井 龍

昭和23年9月に結成されたボーイスカウト山口県連盟が、その後のスカウト運動への積極的な取り組みによって輝かしい発展を遂げ、ここに創立40周年を迎えることができましたことは、誠に嬉しい限りであります。

この間、連盟発展のため御尽力いただいた先輩諸氏の御熱意と御苦勞に改めて衷心より感謝の意を表するものであります。

昭和54年には創立以来の先達の足跡をたどり「30年のあゆみ」を発刊しましたが、山口県におけるスカウト運動の歴史を振り返ることにより、その後のスカウト活動にこの上ない指針となりました。

発刊以来10年を経過しましたが、社会経済の変化はますますそのテンポを速め、青少年を取り巻く教育環境にも大きな影響を与えているところであります。

本県においても長寿化・高齢化、技術革新・情報化、国際化など新しい時代の流れの中で、県政もまた、新たな視点に立っての対応が求められています。このため私は、21世紀に向かって“世界に広がる「活力とうるおいに満ちた山口」の創造”をめざして「心ゆたかな人づくり」「うるおいのある地域づくり」「活力ある産業づくり」を柱として諸施策をすすめているところであります。

ボーイスカウトの活動もまた、人づくりにかかわる青少年健全育成をねらいとしたスカウト精神に基づく実践活動であり、その発展充実が期待されております。

本年8月には、徳山市周南緑地公園において創立40周年記念野営大会を開催し、お互いの交歓を深め、今後の前進を確認し合ったところでありますが、さらにその節目として「この10年間のあゆみ」を発刊し、関係者のますますの御精進と県民の皆様の一層の御理解と御協力をお願いするものであります。

終わりに、ボーイスカウト山口県連盟の今後ますますの御発展を祈念してあいさついたします。



山口県教育委員会教育長 高山 治

## 創立40周年によせて

ボーイスカウト山口県連盟の創立40周年を心からお祝い申し上げます。

昭和23年9月、山口市立白石小学校において、県内28隊のスカウトが団結して山口県連盟が発足して以来、幾多の苦難を乗り越え、組織の拡充強化になみなみならぬ御尽力をいただいた関係の皆様方に敬意を表するとともに、各地において様々な活動を展開され、青少年の健全育成に大きく貢献しておられることに対し、心から謝意を表する次第であります。

さて、近年は技術革新、情報化の進展、さらに都市化、核家族化など青少年をとりまく環境は著しく変化し、特に、自然とのふれあい、年齢の異なる集団での生活体験などが求められております。

このため、自然の中での素朴で変化に富んだ野外活動の体験、地域における社会奉仕活動などの実践的な活動体験、さらには諸外国の青少年との交流による国際理解のための体験など団体活動への期待は大きいものがあります。

ボーイスカウト山口県連盟におかれましては、平素からこうした集団生活を通して規律と秩序ある心身の鍛練、あるいは、社会に対する奉仕の精神の涵養などの活動を積極的に進めていただいておりますが、青少年の多様な社会教育活動の体験が、その人間形成をすすめていくうえで大きな役割を果たしていることから今後、一層の御活躍を期待しているところであります。

記念すべき創立40周年に当たり、ボーイスカウト山口県連盟の御発展と関係者の皆様方の御健勝をお祈りしてお祝いのことばといたします。



## ボーイスカウト山口県連盟40周年



副連盟長 大久保 英 夫

### 思い出

昭和32年理事に就任以来「たくましい防長っ子」の育成を目指し、スカウト運動発展のため努力してまいりました。この間、本連盟創立30周年の記念行事と記念誌の発行を始め、全国に例のないガールスカウトとともに山口県スカウト運動維持財団を設立して、財政基盤の確立をはかり、懸案でした事務局を設置し、需品部も事務局で運営することとし、事務機器等も導入して事務の合理化を図る等々の事業を実現しました。

昭和58年秋、図らずも叙勲の栄に浴し、又翌春、新宿御苑での昭和天皇お催しの園遊会にお招きいただきましたことは、私の一生忘れ得ぬ思い出となりました。

これひとえに皆様方の暖かい御支授御協力のたまものと、深く感謝しているところであります。

しかし、スカウトの増員、指導者の養成、ビーバースカウトの育成等計画を立てて努力してまいりましたが、時世の流れとはいえ思惑どおりにいきませんでしたことは、誠に申し訳なく残念でなりません。

任期半ばでしたが理事長を辞任し、立派な後継者でありました武内先生に後任をお願いしましたが、就任間もなく急逝されましたことは、痛痕事でありました。先生の御冥福をお祈りします。

創立40周年を迎え、記念行事も無事終了したこの時に当り、本連盟の弥栄と、皆様方の御健勝と御多幸を祈念して思い出といたします。



## ボーイスカウト山口県連盟40周年



テレビ山口(株)社長  
県連盟長

佐々木 英 治

### 創立40周年を記念して

21世紀へ向かう新しい潮流の中で、ボーイスカウト山口県連盟が40周年という記念すべき年を迎えたことは喜びにたえません。

創立の23年といえば、戦後の食糧不足とインフレーションの時代でした。この厳しい時期に、賢く骨太な少年を育てるボーイスカウト運動をスタートさせた諸先輩の御努力に改めて感謝を捧げます。

さて私は昨年、昭和63年の夏、徳山市周南緑地公園で開かれた40周年記念大会に出席し、深い感銘を受けました。1,500人の隊員、役員が力を合せた大ジャンボリー、防長健児の心意気を示す「百万一心」の旗を掲げての行進、「そなえよつねに」のモットーに制服の胸に記し、目を輝かせた少年たちをまのあたりにして、ここから「知と体のバランス」がとれた少年たちが必ず生まれるに違いないことを期待しました。まさにたくましい防長っ子たちでした。

輝かしい40周年にあたり、皆さんに一つお願いがあります。私等日本人が更にボランティア精神を常に心がけ、日々を過ごして行かれることを切望してやみません。日本は今、経済的に非常に豊かな環境がありますが、更に心豊かな国とするために、自らを鍛え、他人に、そして国家に奉仕するボーイスカウトの皆さんは、率先して、その先頭に立って生き抜いて行って、国際社会の中で遜色のないよう努力を重ねていただきたい。

またボーイスカウト活動でつちかった友情の輪を広げ、立派な国際人となることをめざして研鑽を続け、邁進して行かれることを切望します。

終わりに山口県連盟のますますのご発展を祈り、私のあいさつといたします。



理事長 益田宗親

ボーイスカウト山口県連盟創立40周年を迎えて

昭和23年9月、本連盟が発足してから40年が経過しました。その間、歴代の連盟長、理事長及び関係者御一同の御協力により、優秀なスカウトが多数養成され、学校や社会ですばらしい活動をしております。

本年も8月18日より3日間、創立40周年記念野営大会を、徳山市周南緑地公園で開催し、スカウト関係者1,500人が集い、多くの成果をあげることができました。同時に記念式典も行い創立以来本連盟に多大の功績のあった方々の表彰並びに感謝状の贈呈を行いました。又、30周年以後10年間の歩みを記念誌として発刊することになりました。記念誌には、野営大会の状況並びに関係者の感想を含めて編集してあります。この記念誌が今後のスカウト活動の発展に役立つことがあれば幸甚です。なお、編集に御協力いただきました亀山事務局長をはじめ皆様方に深く感謝いたします。

今後とも、県連盟発展のため皆様方のなお一層の御協力をお願い申し上げます。





県コミッショナー 市川 熙

#### 創立40周年を迎えて

ベーデン・パウエルが発想をもとにして、少年たちによって自然発生的に始められた「子供たちのための、子供たち自身によるボーイスカウト運動」が、大人の協力を得て瞭原の火のごとく全世界に広がっていきました。それが「子供たちのための、大人の指導者による活動」に変わっていったのはいつ頃からでしょうか。

私自身のスカウト活動の中で、一番の思い出は自分たち自身で計画実行したキャンプです。確かにジャンボリーにも思い出深いものがありますが、それは活動そのものよりも、むしろ友情・自然への驚意といったものかもしれません。自分たちで作成したプログラムでのハプニングは、今考えると反省を伴った忘れ難い思い出として心に残っています。

近ごろスカウト人口の減少に関して、私たちは口を開けば「魅力あるプログラムの提供」と声を大にして言いますが、どんなプログラムでもスカウトたちが、どのように自分のものとしてとらえるかが重要であると思います。言い換えれば指導者の影が薄ければ薄いほどスカウトたちには魅力あるプログラムの展開になるのではなかろうかと考えております。指導者が『黒子』の役に徹する術を身につけることによって、スカウティングの活性化がすすむのではないのでしょうか。

県連盟創立40周年の節目にあたり、私たちの諸先輩が営々として築いてこられたスカウティングの原点を振り返り、新たな決意をもってスカウト運動の発展に力を尽くしたいと思っております。



大会運営本部長 益田 宗親

“集おう我ら防長健児、スカウトの輪を広げよう”のスローガンを掲げ、1,500名のスカウト関係者が、会場の徳山市周南緑地公園に参集し、昭和63年8月18日(水曜日)から21日(日曜日)までの3日間、野営大会を盛大に行いました。

昨年の総会で大久保先生が理事長をお辞めになり、創立40周年に備えて武内県コミッショナーが理事長に就任なさいましたが、1ヶ月もたたぬうちに急逝され、急遽私が理事長の大任をお引き受けすることになりました。突然の事でしたので、ただ茫然、皆様に助けられながらどうにか準備にとりかかることができました。幸いにも徳山市を中心とする第2地区の井関副理事長、福本理事、市川県コミッショナーを始め、指導者の方々、県連盟事務局、県下の関係者の皆様方の御協力により、無事開催にこぎつけることができました。

本大会は初めての試みとして、ビーバー隊・カブ隊も参加し記念式典を盛り上げました。会場は緑が多く、スカウト活動には快適なキャンプ地でした。そのうえ、天候にも恵まれ心配された病人やけが人もなく、また大きなトラブルも起こることなく、非常に充実した大会であったと思います。スカウト全員があわど『しょういん』を取得し、多大の成果をあげることができました。大会期間中の本部給食をガールスカウトの方達が、暑い中を奉仕してくださり、本当に有難く、心から感謝しております。今後もお互いに協力し助け合っていかなければと痛切に感じました。

本大会は、県下の約半分のスカウトが参加しましたが、できれば県全体が集まれる大会を少しでも多く持ち、友情を暖め、スカウトの輪を広げたいものです。又、年々減少するスカウトを少しでも多く集めるためのピーアールをと常に考えておりましたところ、その試みの一環として、佐々木副連盟長(テレビ山口株式会社社長)にご協力いただき大会期間中密着取材していただいたものを、テレビで放映し、同時に45分間のテープにまとめ、希望者に配布することができました。スカウト達にたくさんの良い思い出を残せたことと思います。

この大会を開くにあたり、一年間いろいろと準備をし、大会を成功に導いてくださった関係者の皆様に心からお礼を申しあげるとともに、山口県連盟の今後ますますの発展を祈念いたします。有難うございました。

弥 栄





野営長 市川 熙

8月22日、野営大会のシンボルともいべきあの大テントが撤収されるのを見て、やっと終わったなと感じたものです。

あの暑さの中で、本部役員・スタッフ、又派遣隊長・副長・引率指導者の皆様には、本当に御苦労をかけ、又御協力いただきまして有難うございました。おかげさまで本野営大会は事故もなく終了することができました。

ビーバースカウトからシニアスカウトまでの各部門をあげての大会でしたので、大会運営をはじめ各部門別にはそれぞれ問題点があったことはいなみませんが、ランダム抽出によるアンケートでは本大会がとても面白かった28%、面白かった49%と合格点をつけたスカウトが87%となり、こういう意味では大成功と言えるのではないのでしょうか。

特に多くの指導者から指摘されたガイドブック等の配布の遅れについては誠に申し訳なく反省を要する事項だと思っています。

この大会は県連盟全体の大会であったということをもう一度確認しておきたいと思います。つまり一人一人が主役であり、その範囲で責任をもつということです。準備等を含め打合せ等の会議においても出席のない地区もあり大変困りました。もっともっと多くの指導者の意見が反映されるためにも、地区レベルでの話し合いを県レベルまでもってくる機構の活性化を考えなければならないと思っております。

ビーバースカウト、カブスカウト・ボーイスカウト・シニアスカウトそしてローバースカウトが一堂に会する大会は、なかなか開催できないと思いますが、部門別の大会は度々開かねばならないと考えています。

数多くの問題を抱えながらも、素晴らしい大会となった本大会で、素晴らしい変身を遂げたスカウト、及び指導者を私は数多く知っています。こういうスカウト・指導者が一人でも多く育つよう原隊では出来ないプログラムを開発しつつ、次回を楽しみに待ちたいと思います。

最後に、素晴らしい機会を与えてくださいましたスカウトの一人一人、指導者の一人一人、御父兄の一人一人、外から支えてくださいました皆様方の一人一人に心から感謝の弥栄を送ります。有難うございました。







行事部長 吉武 勇 司

ボーイスカウト山口県連盟創立40周年記念野営大会は、徳山市周南緑地公園東緑地において8月18日から21日までの3泊4日で開催されました。会場は広々として緑が多く、各プログラムも場所を変え、各地で行うことが出来、又参加隊の皆さんの野営生活にも大変良い環境でした。そして大会期間中、好天气に恵まれ盛大のうちに幕を閉じることができました。

今大会の全日程が無事終了することが出来たのも、野営大会全スタッフ、関係者そして参加隊指導者の方々による献身的な努力のたまものと深く感激をいたしております。

今大会は、過去開催された数多くの県野営大会と異なって、全スカウトを対象に『達成章』を設定したことです。スカウトの皆さんがプログラムに参加をすることにより、必修科目及び選択課目の取得を祝して達成章を授与することになりました。結果的には全スカウトが達成章を取得できたと思いますが大事なことは、全スカウトが達成章取得に対して、真剣にプログラムに参加をしたことです。

活動メニューは、スタッフが幾度となく会合を開き、意見の交換をする中で設定されたものですが、期間中たくさん行われたゲーム等で、スカウトの皆さんは何のゲームに楽しさを味わったでしょうか！

野営大会の参加については、ボーイスカウトはもちろんのことビーバースカウト・カブスカウトの皆さんも一泊舎営を通じて参加したことです。過去の野営大会には一日日程で参加したことがありましたが、舎営をして参加したのは今大会が初めてと思います。

舎営の会場は三か所に分かれましたが、山口県内のビーバースカウトやカブスカウトがそれぞれの場所で宿泊したことにより、たくさんの友達が出来た人もいるかもしれません。又、リーダーやデンマザーの皆さんも、他の隊や他地区の方々とは親交を深め合う良い機会だったと思います。

シニアスカウト部門では、大会運営の奉仕に併せてシニアプログラムを組み込み、高校生年齢にふさわしい魅力的かつ冒険的な活動が展開されました。カヌーをこぎ、水上スキーに乗りまた海に入り、山に登るなど体力の限界に挑戦したシニアプログラムは、若者にふさわしい活動でした。今後は、シニア諸君のニーズにより活動内容を出し合うことで、更に魅力的なプログラムを作成し、能力・体力に適した活動を展開したいものです。

三日目の全体行事プログラムでは、全スカウトが一体となって行なわれたゲームなどで、山口県内のスカウトが一か所に集結しての活動で、たくましさを感じた次第です。

私は今回も行事部担当として奉仕させていただきました。各スタッフの役割分担が定まらない昨年の始めより、野営大会に向けて当時の県コミッショナーであった武内先生と共に下準備にかり、今大会の成功を目指して頑張ってきました。野営大会では、野営長以下たくさんの役割分担があり、どれを欠いても大会成功には結びつきません。

昨年の末、各スタッフの役割分担が決定したとき、私は行事部長という大役を受け、気持ちを新たにしました。私達行事部では、全体行事班、カブ・ビーバー班、ボーイ班、シニア班の四つの班を結成し、開会式からプログラム全体、そして閉会式まで担当しました。私達行事部は打ち合せの回数を重ね、大会を間近にした頃には全員が多忙な日々を過ごして来ました。

スカウトの皆さん。野営大会はいかがでしたでしょうか。特にシニアスカウト諸君の感想が今後の山口県大会を盛り上げる重要なポイントになると思います。私達は今すべてを成し遂げたという満足感にひたっています。私はこの野営大会でたくさんの気づきを持ち、多くの事を反省し、大変勉強をしました。

今後は10年も間を置かずに数年ごとに県野営大会が開催されることを望んでいます。今回参加されたスカウト・指導者皆さんの貴重な感想を今後は生かしていかなければなりません。

創立40周年記念野営大会に参加されたスカウトの皆さん、また参加出来なかったスカウトの皆さん。今後もボーイスカウト山口県連盟の一スカウトとして、たくましく成長されることを望みます。そして県内全スカウトが協力し合って山口県連盟をますます盛り上げていきたいものです。

今大会の開催にあたって、地元徳山及び第2地区の関係者の方々には大変御苦勞をおかけしました。会場が徳山に決定してから大会終了後の後始末が終わるまで、大変な御苦勞であったと察します。第2地区の皆さん、本当に有難うございました。



全体行事班長 明石 誠一

「集おう我ら防長健児」のテーマの下に開かれた野営大会は、ボーイスカウトにおいては10年ぶりであり、ピーバースカウト・カブスカウト・シニアスカウトにおいては、初めての県大会になりました。その意味では県下各地区から多くの参加者があり、一つの目的の下に一同に会したことは、スカウトや保護者そして指導者にとって大変意義深いことだったと思います。

みんなと多くの体験の中で苦楽を共に過した日々は、今になっては素晴らしい思い出と勉強になりました。皆様、ほんとうに有難うございました。そして御苦労様でした。

今回の野営大会は、本来のスカウトらしい野営とは、少しかけ離れていましたが、地域性の生かされたものや、ジャンボリーレベルのものがプログラミングされ、記念式典においても非常に内容の濃いものができたように思います。又、多くの方々のお話を聞き、私自身の少ない経験の中から全体を考え、今大会を振り返って見たとき思うことは、与える側と受け止める側の考え方や姿勢により、態度や行動がお互いに理解できなかったことが多くあり、それがスカウト的でない行動・不満に現われていました。

最初に「スカウティング」という言葉を最上段にかかげて反省するならば、“ちかい”と“おきて”“やくそく”と“さだめ”の実践活動の場の中で、第一番目に与えられた環境を、スカウトも指導者も素直に受け止め、その環境の中でどのように生活していくか実践することが大切だと思います。第二番目に、長いスカウト経験、成人としての体験を通して得たものを、TPOに応じ、スマートにスムーズな形での指導性の発揮に示すことが必要だと考えます。第三番目に、誰もが共に楽しみ思い出に残る意義あるキャンプをしたいと思っているに違いないのですから、もう少し考えなければならぬ行動があったように思います。

最近の傾向で残念に思うことは、地域においても、学校・家庭においても、子供も大人もコマース化されたイベントに慣れて目や耳が非常に肥え、受動的になっているように思われることです。文化の向上は大変喜ばしいことですが、そのことが人間の生活を自然から遠ざけていくように思います。我々の目指しているものは、自然の中で人間として人間らしく生きていく生き方を、キャンプを通して体で感じ、自然の大切さを理解することであるのは御承知のことだと思います。

「無気力」「無感動」「無責任」の傾向が子供や大人に強まっていく中、スカウティングを通して数々のキャンプ・大会に参加し、又奉仕を一人一人が自発活動に目覚め実践するならば、幸せなる人生を得ることができ、結果的にすばらしいスカウティングとの出会いになることだと思います。大事なことは、どんな大会でも、一人一人が向上心を持って参加し、奉仕することであると思います。

本大会で忘れてならないことに、ガールスカウトの皆さんの心からの奉仕と参加があったことです。スカウティングはベーデン・パウエル御夫妻で始められております。大切なことは、同じ道を歩む者同志、共に助け合い励まし合ってこそ健全な理解ができると思います。子供達のためにも今後一層の友好関係を持ち、共にスカウトの道を歩んでいきたいと思っております。ガールスカウトの皆さんに心からお礼を申し上げます。

私は今回の野営大会の自分自身の反省点を自らの向上心にかえ、次回に奉仕される方々へ協力するため、なお一層のスカウティングについての勉強と奉仕に努力したいと思っております。

本大会に精一杯の奉仕をさせていただいたことに感謝を申しあげ、事前から多くの方々の御理解と御協力をいただき、御苦労をおかけしましたことは忘れることはできません。有難うございました。『人生で最もいやな、つらい、損な場面を笑を持って担当せよ』小原国芳





ビーバー・カブ班長 徳山 洋

県内のあらゆる方々の創意工夫のもとに開催された素晴らしく、又本当に有意義なる野営大会に、BVS・CS班長として参加させていただきましたことを心から深く感謝いたしております。

班長を拝命をいたしましたものの、私自身ボーイスカウトビッグイベントへの参加がこれまでに極めて少く、計画の段階におきまして、関係各位の方々に多大の御迷惑をおかけする有様であり、又思考錯誤の毎日という不安な日々もございましたが、幸いにも経験豊かな諸先輩、諸先生方の適切な御助言と御協力により、役務を無事果たせた事が何よりもうれしく思います。BVS・CS班は、全くのよちよち歩きでの野営大会参加であったかとは思いますが、かような大会に積極的に参加し体験を重ねることでBVS・CSも今より徐々に素晴らしいデンづくりが実現されていくのではないのでしょうか。そしてしっかりと自然の大地に足を踏み入れた活動を展開させていくと信じます。

大勢の仲間と語り合い、悩み合った野営大会までの長かったようで非常に短く感じた日々こそ、私にとっては大きな収穫でありました。そしてこの活動を今後継続していくであろう自分自身にとっては大きな貴重な財産を皆様から頂いたと思っております。

BVS・CS隊指導者の皆様、この素晴らしかった野営大会への参加を記念し、今、現在よりもっと、それぞれの地区の指導者はもちろん、地区を越えた指導者の交流を図っていきましょう。BVS・CSの少年達のために！そして山口県ボーイスカウト発展のために！！ 私達のふる里のために！！

“弥栄”





行事部・ボーイ班長

内山 昭博

行事部の一員として大会の企画から参加させていただき、とても勉強になった大会でした。ボーイ班はプログラムの作成が最大の仕事であったので、常に満足のいくプログラムを提示しようと努力してきました。しかし出来栄は十分でなく、皆様に迷惑をかけた向きもありました。

防府大会の後、十年もたって開かれたため、何もかも一からのスタートであったように思います。第2地区の皆様のご協力であったこの大会のノウハウを生かすためには、次の県野営大会を早く開いて、定期大会にこぎつけることが大切でしょう。

集うことが最大の目的であった本大会。さらに次元の高い大会を目指して研鑽を積まなければなりません。本大会を通じてできた指導者の絆は、明日の県連盟の力となるでしょう。本当にお世話になりました。





## 行事部・シニアー班長 金子成志

今大会は、はじめてシニアースカウトもプログラムを展開する大会となりました。私自身初めての本部奉仕ということで、不手際もありましたが、野営長を始め全スタッフの方々の御協力により、事故もなくスカウトも満足のいく大会となったと思います。

さて、初めてシニアースカウトの大会プログラムを計画実施した結果の反省と今後の課題を述べておきます。

今大会で一番の反省点は、誰がいつ野営場に入り、いつ退場するのか人数の把握ができずに、実際の活動の中では班の活動がほとんど行うことができませんでした。スカウト自身も、自分の担当箇所が終われば終わり、他のスカウトの手助けをする姿勢ができていませんでした。次に、奉仕活動を終えて隊に帰ったときの報告が一度も行われませんでした。この二点は、日頃の活動により協力することの大切さ、報告の重要性を指導する必要性を示すものと思います。

プログラムについては、スカウトの奉仕や活動基地でのプログラムが多くなり、朝から夕方まで海上で活動するというハードなプログラムが多くなりました。もっと計画での段階で、スカウトの疲労度を考慮する必要があると思われます。

役割分担については、シニアー班長兼隊長であれば活動やプログラムの消化はスムーズに行われますが、反面隊長が多忙になり、隊又は行事のどちらかがおろそかになるおそれがあります。反対に班長と隊長を別の指導者が分担すると、負担は軽くなりますが、両者の話し合いが十分に行われず活動がスムーズに行うことができなくなり、更に指示系統が二つになりスカウトが混乱すると思われます。このことは大会ごとに検討する必要があると思われます。

最後になりましたが、この度の大会で「シニアースカウトは素晴らしい」という声を多く聞くことができました。これは参加スカウトはもちろん、大会スタッフの方々、隊指導者の協力と努力の成果だと思えます。有難うございました。今大会の結果が次回のステップになることを望みます。

初めての奉仕でわからない事が多くありましたが、スタッフの方々の御指導により、事故もなく無事大役を果たすことができました。スカウトの姿を見て胸が熱くなる事が何度ありました。今後の活動に生かしていきたいと思えます。有難うございました。 弥 栄





野営管理部長 池田 信幸

県連盟創立40周年を迎えるにあたり、記念野営大会を開催することは早くから決まっており、1年半くらい前から準備に取り掛かっていた。開催候補地も2、3ヶ所あがっていたが、地理的条件等をふまえて現地調査を行い、徳山市周南緑地公園東緑地を候補地に選び、理事会に諮り同地で開催することが決定した。

大会要項案が示され、各部のスタッフも決まり6ヶ月前ごろから幾度となく会合を重ねて、大会を成功させるために知恵を出し合った。

今回の野営大会は、県連盟創立40周年を記念するもので、『集おう我ら防長健児』のテーマのもとに、一人でも多くのスカウトに集ってもらおうということで、ピーバースカウト・カブスカウト部門、ボーイスカウト部門、シニアスカウト部門の各部門別の行事と全体行事部門を計画実施することになった。したがって野営管理部の奉仕活動も数多くなった。一般的な野営管理はもちろんのこと参加スカウトの受付と参加人員の把握、救護・衛生施設、配給、本部設営等部としてリストアップすれば、数多くの準備及び活動があったが第2地区スタッフの方々の援助協力により、何とか部として参加にこぎつけることができました。

大会期間中は天候にも恵まれ、参加スカウトはもちろんのこと、参加隊指導者の協力により、大会期間中スムーズに野営生活ができ、各部門の活動が進められたように思います。特にシニアスカウト活動に奉仕を半分、独自のプログラムを半分設定し大会運営の奉仕活動をしていただいたことに、感謝しなければならない。

大会が終わり、サイト点検終了後ゲートを出て家路に急ぐスカウトたちが「ありがとうございました」、隊指導者からは「お世話になりました。また会いましょう」の言葉をかけられたとき、大会スタッフの一員として参加し奉仕したかゝりがあり、感無量であった。

しかしながら、私自身この大会で反省しなければならないことが数多くあるように思われる。これらの反省を踏まえて今後も自己研修に励み、次回の大会に備えようと思う。

最後にスタッフ及び参加隊指導者の皆さん、ありがとうございました。







野営管理班長 山本 隆 幸

とうとう待ちに待った日がやって来た。野営管理の出番だ。昭和63年8月16日野営場へ向かった。しかし、打ち合わせどおりできるかどうか不安で一杯であった。不安で一杯であった。スカウトが来るまでは……と気持ちは焦るがなかなか進まない。

我々は夜を徹し、17日夜までには九分どおり完成した。素晴らしい入場門も完成した。『さあ来い。スカウト達よ。受入れ体制はOKだ』

40周年記念野営大会開催日の18日がやって来た。朝のスタッフ会議で打ち合わせ最後の作業に向かった。受付の最終チェックをし、制服に着替えた。私自身初めての制服で少し照れ臭かった。ボーイスカウト達がやって来た。「さあ、やるぞ」と自分に言い聞かせ、大きな声で「こんにちは」、輝かしいまなざしの指導者、スカウト達とあいさつを交わす。受付は順調に運んだ。スカウト達がやってくるたびに笑顔で迎えた。やっと一日目が終わった。しかし、忙しくなるのはこれからだ。

案の定、昨日とは月とスッポン、ビーバー隊やカブ隊の到着で受付はパニック状態になった。引率者に苦情を言われながら、我々スタッフは、参加人数のチェック、弁当の注文を受け無事に受付を終了した。『引率者に少しの気配りがあればなあ!』疲れがドオーと出て来た。しかし、これを吹き飛ばしたのは記念式典である。苦労して作った素晴らしい式典会場、あの旗ドリル、徳山の夜空を焦がした七色の花火、どれを見ても40周年にふさわしいものであった。

3日目の朝が来た。『トラブル発生! カブの朝食が足りない』責任者、指導者そしてカブスカウト達に迷惑を掛けた。幸いに間に合ったが疲れがどんどんたまってくる。大イベントである全員による行事が始まったが、我々スタッフは行事で横目で見ながら、受付やその他のセクションに向かった。

カブスカウト達が帰路についた。入場門でのお別れで、昨日今日のことがうそのように、スタッフは目に涙をため「さようなら」「さようなら」といつまでも手を振っていた。日も暮れ、あと一日でこの野営大会も終わる。疲れきった体で横になるが、なかなか眠れないまま最後の朝が来た。

静かに国旗が降ろされ、無事閉会式も終わった。

手に手を取り合って喜ぶスタッフ達、涙を流しながら抱き合っているスタッフ、大会は大成功に終わった。これもひとえに“指導者はスカウトのためならば”の精神だと感激した。熱く燃えた野営管理、奉仕をしてくれた2人のローバースカウト、良き指導者の野営管理部長、この大会でいろいろな事を学び、素晴らしい指導者に会い、一生忘れぬ思い出になるでしょう。ボーイスカウト達が、疲れきった体をもち打ちながら笑顔で帰路についた。







資材・配給班長 浅野和也

「集おう我ら防長健児」の旗じるしの下に、徳山で開催された山口県連盟40周年記念野営大会にスタッフの一員として参加いたしました。

資材・配給班長という大任を仰せつかり、この任務を大過なく果たすことが出来たのも、スタッフをはじめとする皆様の協力があったればこそと深く感謝いたします。

配給を担当してほしいという話があったのが7月上旬、何もお手伝いしないままに8月の班長集會に出席したときには、既に業務内容については、地元2地区の指導者の方々により出来あがっており、ほとんどお手伝いらしいお手伝いをする事なく、班長という大役を担わせていただき誠に心苦しく思います。

私は8月16日より野営場に入りましたが、直前の準備、期間中の奉仕についても、地元2地区の方々を中心に一致協力して非常にスムーズにできたように思います。

期間中の資材配給についても、食品納入者の方々、地元育成会員の方々の献身的な御協力により、食料品の遅配欠配といったこともなく、うまく出来たと自画自賛しています。苦言を呈させて頂くならば、せっかく配給された食品が献立表にのっとりうまく使いこなせなかったように見受けられたのは残念至極です。

また設営資材についても、相当量準備されていたにもかかわらず、あまり活用されなかったのではと感じました。

初めて県下の全スカウトが集結しての野営大会なので、出来れば開会式を全員で行なって山口県連盟の意気を大いに高揚すればよかったようにも感じました。

また、ピーバースカウト・カブスカウト達は、日頃シニアスカウトの活動をあまり見ていないこもとあり、シニアスカウトの活動を見せる絶好の機会だったと思いますが、シニアスカウトの諸君の参加がやや少なかったように感じられました。

私がスカウトの時代には、県・地区等の大会がほぼ毎年のように開催されており、県内はもとより他県のスカウト諸君と交流を深める機会が多々ありましたが、現在はそのような機会に恵まれず、スカウト諸君には気の毒に思います。せめて県大会を10年に一度というインターバルではなく開催してやりたいとつくづく感じた次第です。開催する場所、スタッフ等多くの解決すべき問題はありますが、沈滞しているスカウト運動に活性を与えるための一手段としても考慮すべきことと思います。

最後に、スカウターとしてこれからも、スカウト運動発展のために限りなき前進を続けることをちかうとともに、山口県連盟のますますの発展のために微力を尽くしたいと考えています。





野営管理部救護衛生班 三坂 玉良

記念野営大会は、地元スカウト関係者、徳山市及び市民の御協力によって盛大な大会が開催されましたことを心より感謝いたします。

大会中、救護衛生班として仕事をさせていただきましたので、その面からの気付きを述べさせていただきます。

各団とも、健康管理面の指導が不十分ではなかったろうかと思えます。特に、シニアスカウトは本部奉仕班として一生懸命活躍をしていましたが、いざ、自分達の行事に参加できるとなると、一度に気が緩み、目的地に到着してから数時間後、数名のシニアスカウトが、救護所に搬送されて来た。そう白な顔色をし、疲労が重なって、医師のお世話になりました。

この原因は、指導者の状況判断にもよるが、シニアスカウト自身の健康管理が十分でなかったのではないかと思います。シニアスカウトにもなれば、自分の体調は、自分が一番よく知っているのです、日常生活においても常に健康面に気を配る必要があると思えます。

今後開催されますボーイスカウト救急法講習会には、指導者の方、シニアスカウトの諸君の受講を切にお願いしておきます。







## 下関第7団 ビーバースカウト隊

## 県野営大会のこと

☆ たい長から手紙がきました。キャンプにつれていってあげるから、タオルケットやカップをもって、おかあさんとあつまって、ようふくのせいりとか、カップのきかたのれんしゅうをしてから、わすれものをつかれな  
い（プールのきんし）の話がありました。 [杉本賢史]

けんたいかいの朝、いつもより早くおきました。それはもしもおくれてしまったら、おいていかれるかもし  
れないとおもったからです。天気がしんばいでしたがはれていたのがよかったよ。こうえんにおかあさんとい  
きました。バスがきていてみんなでのりました。7だんのカブとビーバーだけのバスでした。

[大隈淳司・納 宏次]

☆ バスからおりたら、ビーバーからシニアまでのにんぎょうがありました。ぼくたちに、あいさつをしてく  
れているみたいでした。

ぼくたちよりさきにいっていたたいちょうが「ようきたね。ようきたね」といいました。なふだとワッペン  
をつけてもらって、かい会しきをしました。カブはたくさんいました。ビーバーはすくなくったです。でもた  
くさんの人がいました。すごく大きなテントがあつてびっくりしました。 [矢野幹雄]

☆ ハイキングがありました。白と青のひもがあり、みつくてあるくのです。はじめのあたりは、さかだつたか  
ら、きつかったけど、ぼくたちの色の青はよくみつかりました。とちゅうはしを通れるかなとおもったけど、  
青は山の中にいきました。池のところまでんとうをたべてから、すばこを木につけました。かえりみちは下り  
ざかでらくだつた。 [小川浩二]

☆ よるになって大しゅうかいがありました。シニアの人が大きなはたをもつてあるきました。うたもうたい  
ました。「ユポイヤイヤ」のときはしつていたのでうれしくて、げんきにおどりました。ねむかったけど、さ  
いごまでみました。花火もきれいでした。学校の体いくかんでねました。 [吉本悠人]

☆ 朝、目がさめてから顔をあらったりしてから、かい会しきのあつたところにいきました。カードをもらつて  
ゲームをしました。立っていたらボーイの人が手をつないでくれました。「我ら防長健児」というのがあつま  
つたら、いろいろなゲームをしてもよいとおしえてくれたので、ほかの字の人をみつめました。

そろつてからビールのいれものめいろをしました。たいへんむつかしかつたので、まよつたけどゴールし  
ました。クイズ大会でぼくは3回でおちました。ぼくたちのカブのよし本くんはさいごの3人にのこつてい  
たので、おうえんしました。 [石津篤史]

☆ へい会式がすんで、ぼくたちはバスにのつて下関にかえりました。がんばつていろいろなことができたので、  
おさむらいのついたチーフリングをごほうびにもらいました。

ときどきたいちょうやおかあさんのいうことをきかなかつたけれど、みつからなかつたのかと思ひました。  
こんどからは、いうことをきかなければいけないと思ひました。 [林 英克]





岩国第5団カブスカウト隊 岡村 顕 司

## たのしい野営大会

今年は、ボーイスカウト山口県連盟が創立されて、40周年の記念すべき年です。これを記念して徳山で野営大会がありました。

僕達は野営大会に行くために、8月19日朝7時までに駅に集合しました。僕は組長なので、おそくならないように家を出ました。7時22分発の徳山行きに乗りました。朝というのに電車はまんいんだ。最初は立っていたのだが、やっと席があいてひと安心、リュックサックを隊長がつかれるからおろしなさいとって、おろしてもらった。

くしが浜駅で電車をおりた。僕はみんなを整頓して隊長に報告した。前を見たら4団のカブスカウト達だったのでおどろいた。4団の人は「こんにちは」と言ってくれたのに僕達は返事ができなかった。自分でもだらしがないと思った。

くしが浜駅を出て、4団から先に歩いて、僕達は後をついて行きました。そして徳山の周南緑地公園東緑地まで歩いて行きました。

開会式が終わって僕達はつかれて日かげで少し休んだと思ったらすぐハイキングでした。途中でジュースをもらったので良かった。隊長に僕が作った巣箱をもらい持って歩いた。目的地について、やっと昼ごはんを食べた。食事の後で巣箱を木につけた。みんなの協力によってうまいぐあいにできた。また歩いて開会式をやった所のすぐそばまで帰って来てひと休みした。

そしてシニアの人達に桜木小学校まで案内してもらった。桜木小学校の体育館に荷物をおろして整理をした。今夜は僕達は桜木小学校にねることになる。

その夜公園で記念式典があった。いろいろなことがあって楽しかったが、その中でも最後の花火は良かった。スカウトのため打ち上げてくれた花火はすごく良かった。

10時ねる時間がきたのに、みんななかなかねむれない。そのうちつかれが出てきて、一人二人ねむっていった。僕もいつのまにかぐっすりねむっていた。

20日は朝食をすまし昼までの間、友情ゲームなどが始まった。6人が組むなかまづくりゲームをした。知らない人ばかりだったが、みんなやさしくていい人達だった。

昼に終わって僕達は帰る用意をした。そして隊長から40周年記念のチーフリングをもらった。チーフリングには吉田松陰というりっぱなかがのっているので良い記念になると思った。

岩国駅についたのは3時30分ごろでした。とてもすばらしい楽しい野営大会でした。





岩国第5団カブスカウト隊 藤川 貴 弘

## 40周年記念野営大会

8月19日の朝、浅野隊長と5団のカブ隊みんなで岩国駅を出発しました。電車の中では安東君たちと歌を歌いながら行きました。

周南緑地公園について少し休んだ後、開会式がありました。その後は山口県のカブ隊が全員でハイキングに行き、目的地について家から持ってきたカブ弁当を食べました。少し休んで、6月の隊集会で組のみんなといっしょに作った小鳥の巣箱を公園の木にかけました。ハイキングが終わり、僕達が舎営する桜木小学校に行きました。

少し遊んだ後、記念式典のある会場にみんなで歩いて行きました。そこで思い出に残ったことは音楽隊のドリル演奏と花火大会です。

そのあと桜木小学校にもどってねました。

8月20日の6時ごろ起こされて、朝ごはんのサンドイッチを食べて、本会場に行きました。そこで話があった後、友情ゲームがありました。みんなに字の書いてある紙をくばりました。ぼくは『健』という字をもらい山口3団の大庭君、萩3団の松屋君、宇部15団の末岡兄弟、下松4団の森繁君の6人でグループをつくりいろいろなゲームをしました。一番おもしろかったのは巨大迷路でした。

それから閉会式があり、吉田松陰先生のチーフリングをもらいました。

帰りは、くしが浜駅まで歩いて行きました。それから電車にのって岩国に帰りました。とても楽しい野営大会でした。



下関第11団ボーイスカウト隊 安崎修二

## 野営大会のすばらしさ

ぼくは、この野営大会に参加して普通のキャンプでは得られないすばらしいものを得ることができたと思います。

それは第一に友情ゲームです。見たこともない、名前も知らない人とチームを組んで、いろいろなゲームをやっていくのです。その人達ととても仲良くなり、すごく思い出に残ったゲームです。次に思い出に残ったのは交歓です。隣のサイトに行き、ご飯をごちそうになりました。シチューがとてもおいしかったです。コココーラ・ライトの1.50を4本ももらい、とても楽しかったです。

このようなことは、自分の隊ではできません。他の隊と合同で行事を行うからこそ、野営大会のすばらしさがあるのだと思います。

いろいろな人達と友達になれたので、とてもよかったと思います。

この大会で、お世話をして下さった方々に、とても感謝しています。どうもありがとうございました。





## 下関第11回ボーイスカウト隊 中川智弘

## 一番苦労したこと

8月18日から徳山市周南緑地公園で、山口県連盟創立40周年記念野営大会が盛大に開催されました。

開会式の後、大会前から計画していた選択プログラムに参加しました。まず、最も楽しみにしていたアドベンチャートレイルに参加し、日頃きたえた体力を発揮しました。それからどんどん必修プログラム、選択プログラムを消化していきました。友情ゲームや交歓、そしてキャンプサイトトレイルで新しい友と友情を深め、班旗立てや綱引きでチームワークを養いました。そして、これらを達成した証が『松陰章』なのです。『松陰章』をもらったとき、本当にうれしかったです。

そのほか、記念式典は目を見はるものでした。

僕が一番苦労したのが班長の仕事です。次長の僕は、遅れて来る班長の代理でした。僕の思ったほど班長は楽ではなく、全く逆だったのです。これからは次長の仕事である班長のサポートをしっかりしていきたいと思いました。

僕は3泊4日の短い期間でしたが、この野営大会で多くのことが学べてとてもよかったと思います。



下関第6回ボーイスカウト隊 後藤好正

家のありがたさがわかりました

ぼくは山口県連盟野営大会に行き、奉仕作業をしているうちに、ときどき「いやだなあ」という気持ちが出てきましたが、奉仕作業が終わると「いい事をした後は、気持ちのいいものだなあ」と思った。

このキャンプに行き、ぼくはいろんなことをした。それはいろんな人と「友情ゲーム」で知り合ったり、「交歓」でほかの団の人としゃべったり、ハイキングでいろんな所に行ったり、綱引きで力を合わせてしたりしてつかれたけど楽しかったです。

みんなで力を合わせて3泊4日のキャンプをけがもせず無事に終りようできたのも力を合わせたからだと思う。ぼくはこの3泊4日の中で、心を強くして、心をきたえることができました。

ぼくは、家のありがたさがよくわかりました。こんどから家のありがたみをわすれず、すききらいをなくそうと思いました。





下関第16団ボーイスカウト隊 中川雅貴

## 野営大会の思い出

楽しかったキャンプ、きつかったキャンプ、思い出せばたくさんの思い出があった。

ぼくは早く行きたかった。でも、電車の中ではあまり早く着いてほしくなかった。それは駅に着いたら、道を歩かないといけなかったからだ。駅に着いて歩きだした。夏の暑い太陽が照りつけているので、歩いているときは、早く着いてほしいと何度も何度も思った。やっと着いたときは、大荷物を持って歩いたので、とても手が痛かった。

テントをたてるとき、自分の班のところはまじめにやったけど、食料を置くテントはあまり熱心にしなかったからいけなかった。だから、こんなときがあったら積極的にしようと思います。

1日めの夜は、ぐっすりと寝られました。しかし、あまりにも暑かったので寝袋の上で寝ていたもので、朝になってみたら足や手をいっぱい『か』にさされていました。こんどは気をつけようと思います。

さて料理のときが一番いやでした。なにせぼく達は夜の係だったからです。夜おそくまで後かたづけをしたからです。でもこれも思い出になったから良かったです。

部門別プログラムでは、ディスカッションやO.Lや綱引きなどとてもおもしろかったです。その中でも友情ゲームが一番心に残りました。友達がたくさんできたからです。今でもうっすら顔を覚えています。

いよいよ閉会式、3泊4日の長かったキャンプが、今ではすごく短くなったようです。こんどまたこんな長いキャンプがあったら、もっともっと友達をつくらうと思います。



## 下関第6団シニアスカウト隊 西村 耕

## もっと奉仕の心を

県内でのこのような大会は、自分では初めてであったと言うのも当たり前だ。前の大会は10年前なのだから…。この大会では、自分達シニアは半分奉仕で、半分自分達の活動であった。

自分達は、大会前から会場入りし、ステージ作りや活動プログラムの準備などでとても大変だった。中でも『ビッグ・エスケイプ』とかいうもの、こいつにはちょっとばかり手をわずらわせられた。他にもたくさんの奉仕をした。又、上級班長という大役も引き受けた。この上級班長というのはとても忙しかったがやりがいのある役だった。なぜかと言えば、シニア班の皆の面倒を見るからであり、このことは自分にとってはうれしいことでもあった。

それから奉仕のことだが、奉仕で何か作っているときはいろいろ疲れるが、後でボーイやカブが喜んでそれを使っているのを見ると、奉仕のやりがいというものを感じた。

話はわかるが、この県のジャンボリーで自分は上級班長として、又、シニアの一人として言いたいことがある。それはスカウト活動の第一目的である『奉仕』のことである。シニアは今回は、ほとんど奉仕隊として参加しているのだ。そして皆んな当然奉仕をする気であるのだろう。しかし、その仕事を逃れようとする者が何人かいた。理由は多分「きついから」とか「疲れるから」などだと思う。奉仕をするのだから疲れるのは当然だ。それに隊長が「奉仕に何人来てくれ」と言ったとき、大抵すぐ動くメンバーは決っていた。もう少し自分から進んでやるという気が欲しい。それに自分の仕事が終わっても他のものがしていたら手伝うくらいの心構えを持って欲しい。それから後片付けをするとき、皆んな早く帰りたいのだからまじめに取り組んで欲しい。あるグループは早くすむように流れ作業でしているのに、もう一つのグループは運ぶのはいいが、積み過ぎて結局全部こぼしている。これではいつまでたっても終わるわけがない。もっと、やるときにはやる、遊ぶときには遊ぶというけじめが欲しい。それと全員で協力して物事をして欲しい。シニアなのだから。

まあ何はともあれ楽しかった。十分奉仕をしたし、水上スキー、パラグライダー、カヌーなど日頃出来ないことにたくさん挑戦できたし。来年から度々このような県キャンボリーをすると聞いたが大いに賛成である。今度は隣の県からも派遣隊という感じで何隊か呼び寄せて欲しい。そうすればもっと良いものになるだろう。





## 下松第1団シニアスカウト隊 杉本達郎

## この大会で得たもの

僕は、この40周年記念野営大会でこの夏休み最大のものを勉強できたと思う。奉仕でボーイやカプのための準備が大変なことは、今までほとんど知りませんでした。

暑い日差しの中を汗を流しながら苦勞して作ったものを、ボーイ達が本当に楽しそうに使っているのを見ると、今まで味わったことのない充実感というか、ああ、やって良かったなと感じた。それに付け加え、シニアのプログラムの準備をしてくださった指導者の方々には、何とも言い表せない気持ちが込み上げてきました。

特に薄暗い太華山山頂でのことなど、この4日間の中で一番深い思い出だと思う。それと記念式典でのカラーフラッグドリルは、自分でもびっくりするくらいに出来が良かったと思う。

これで、だれでも本当にやる気になれば、何でもばりばり出来るということがわかった。それにしても我ながらあっぱれだったと思う。

こういう野営大会に、スカウトとして参加して本当に良かったとつくづく思う。今度この大会に、もし参加するならもう指導者として参加だ。そういう時には今回の経験を十分に生かしたいと思う。

この夏一番の思い出を有難うございました。





ボーイスカウト田布施第1団 上山 功二 (JE4WPL)

## 山口県連盟創立40周年記念野営大会に参加して

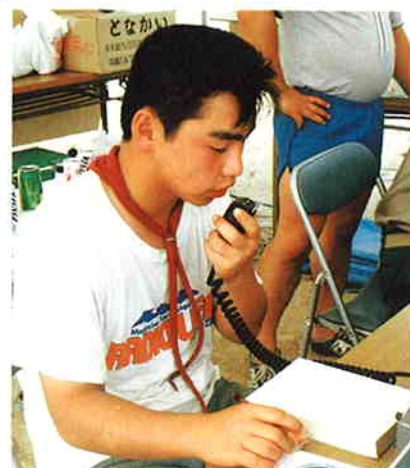
我々ボーイスカウト田布施第1団AMCは、山口県連盟創立40周年記念野営大会に、アマチュア無線の公開運用として参加しました。参加するに当たって、我々は、無線機、アンテナ、工具類、交信証などを準備し、総交信局数300を目標として当日に臨みました。

初日、会場入りしてからは、みんなの協力もありスムーズにアンテナ張りの作業を終えることができました。それから数日は、やる気一ぱいで、毎日数時間と交信で、交信局数をふやしていきました。その交信して下さった局長さんのなかには、ボーイスカウトのリーダーをされている方もあり、この野営大会に参加運営している人々に対して、激励の言葉をいただき、改めて、電波を通して遠く離れたスカウト同志の友情を深めるということの大切さを強く感じました。

野営大会も後半に差し掛かると、公開運用の見学者も増えて来て、実際にマイクを手にする方もおられました。また、見学者の前で実際に交信をして見せ、内容について説明したり、記念に交信証を渡したりしました。中には、興味を持った人もいたので、免許を取ることを勧めたりしました。実際に自分で交信すると、楽しさは倍増すると思います。

いよいよ撤収をするときがやって来ました。使用した無線機やアンテナなどをきれいに片付けて、ゴミなどを拾って掃除をした後、機材を積んだトラックに乗って野営地を後にしました。

総交信局数は、目標に及ばなかったものの、とても楽しかったし、良い経験もできたキャンプでした。





楽しかった思い出：



## アンケート調査

### ◆ビーバー・カブ部門

#### 1. お茶不足

これについては『最初からわかっていて納得できない』という御意見がありました。そのとおりだと思います。

謙虚に反省し次回に備えたいと思います。

#### 2. ハイキングのコース

これについては明らかに事前の打ち合わせが不足していたように思います。県内の指導者が一堂に会して打ち合わせをすることの難しさを示していると思います。次回には何らかの対策が必要と考えています。

#### 3. 炭酸飲料について

炭酸飲料は、本大会では不適であるという御意見が多数ありました。

#### 4. 全体のプログラム

(1) 時間に追い回されていた。

(2) 子供達の楽しめるプログラムで、かつその中に修得科目が少しでも含まれているものが良い。

(3) 遠くから参加した者にとっては、1泊は中途半端である等がありました。これも特に打ち合わせ不足を指摘した方が多かったように思います。

以上のようなことを考慮してみますと、この中に、

○ビーバー・カブラリーは分離すべきか。

○県内ラリーを開催するには。

○地区ラリーを定着させるには。

という答えの一部が含まれているように思います。



### ◆ボーイ部門

#### 1. 全体行事

(1) 特に記念式典でスカウトがお客さんでは困ると多くの指導者の方から指摘されました。式典で心に残ったことに『県警のドリル演奏』、『花火』が圧倒的に多かった中に、自分が隊旗保持者になったことを挙げていたスカウトがいたことを知り感激しました。

(2) ゲームについては、スカウト・指導者ともに『友情ゲーム』、『巨大迷路』を面白かったものに挙げていました。特に友情ゲームはいつまでもこの種の大会でやってほしいというスカウト・指導者がいたことが印象的でした。



## 2. ボーイ部門プログラム

### (1) 必修科目

スカウティングの中で一番重要な部門であるにもかかわらず、スカウトの反応が悪いように思われます。特にディスカッション・信仰については打ち合わせと準備の不足でつまらないものになってしまったようです。以後もっと工夫して、いろいろな知恵を出し合ってスカウトに充実感を味わせるプログラムの展開に努めるべきだと思います。



全体的に「プログラムの数さえあれば良い」という姿勢だとの御批判がありましたが、『友情ゲーム』『交歓』『隊サイト・トレイル』には多くの指導者から御賛同のご意見を得ることができました。

### (2) 選択課題

人気ベスト3は、『アドベンチャートレイル』『ロープワーク』『アマチュア無線』でした。ロープワークが人気種目であることがうれしく感じましたが、もっともっと指導者自身が技術的にしっかりしなくてはとも思っています。

### (3) 今後のプログラム

私自身この質問の回答に大変期待していたのですが、スカウト・指導者ともに具体的で面白そうなアイデアが極めて少なかったのが誠に残念です。特にスカウト達に対しての「君が指導者ならどのようなプログラムを入れますか」の質問に、「別になし」というスカウトが多かったことに驚き、『昼寝』『おやつの時間』『射撃』『ダーツ』『花札』『碁』『将棋』『ソフトボール』といった意見に更に驚いた次第です。

## ◆シニア部門

「本大会の成功はシニアスカウトのおかげである」との評価は誰もが口にする言葉です。

実際彼等の奉仕がなければ、指導者不足の中での大会運営は出来なかったと思われる。そして短時間のうちに出来あがったカラーフラッグ、ローパーを中心としたあの練習風景、又式典での威風堂々のパレードは今も心に残っています。

本年は2NVのあおりを受け、参加者が少なかったせいで、最初のプログラムを大巾に修正せざるを得ませんでした。水上スキー、いかだ、GSとの交歓、又ちょっとハプニングのあった太華山登山等奉仕以外のプログラムも取り入れ、これも成功だったと思います。

シニア部門は今後のスカウティングを左右すると言い切る指導者もいます。来年度からは毎年のフォーラム、県レベルの行事が予定されています。これを機にますますシニア部門の発展を手助けしていきましょう。



## ◇全体部門にかかわること

### (1) 会期

盆明けは都合が悪いという指導者が約6割もいたことで、日程には再考が必要でしょう。

### (2) 会場・参加費

会場については可とする指導者が多かったのですが、参加費については、ビーバー・カブ部門では「まあまあ」という意見が多く、ボーイ部門では半数以上の指導者が「高い」と思われています。中には「食事の質を落しても参加費を安くすべきだ」という方もおられましたが、総予算の中で食料費のしめる割合は約10%で、目の見えないところにかかっている費用が多いということを理解してほしいと思います。

又ある指導者の方が「お金を出して奉仕するために参加するのは筋が違うのではないか。参加しない指導者がお金を出して、参加指導者は力を出せば良いのではないか。」と言われるのを聞きましたが、理論的にはそのとおりだと感じております。



### (3) 弁当

様々な評価がありましたが、おおむね可とされる指導者が多かったようです。

### (4) 施設

ゲートをもっとびっくりするものにと希望される方が少なからずおられたことと、需品部が狭いうえ、商品の量、構成が悪いと指摘された以外は、おおむね可とされる方が多かったのですが、スカウトは口をそろえてトイレのにおいのひどさを言っています。こういう大会では必ず問題になることですが、脱臭剤等での実験も必要かと考えます。

### (5) 献立、食料、食事

参加費と比べての不満、副食の材質についての注文がありましたが、食料費が前回の30周年記念大会に比して80%安、又当初の予算に対しても相当安くなったのは、下松第一団の指導者や御父兄の皆様方の献身的な努力があったことも知ってほしいと思います。



多くのスカウトや指導者が『まき』を使用出来ないいらだちを覚えておられましたが、場所が公園であるため、又プログラム中心の大会であるということで御理解をいただきたいと思います。ただ、多くの指導者の方が、本大会での食事の一括管理の必要性は認めておりました。

### (6) ゴミ処理

ゴミの収集方法については、今回の方法は大変良いとする指導者が多かったのですが、ルールが全く守られなくて最終日の後片付けで、光第2団カブ隊の御父兄の皆様方には大変御苦勞をおかけしました。

### (7) その他

野営管理規則が形だけになってしまった、準備を含め全体の運営が組織的でなかった(役割分担不明瞭)の御意見に対しては全くそのとおりだと考え反省しております。



ボーイスカウト山口県連盟  
この10年の  
あゆみ



項目	年度	昭和 54 年 (1979年) 度	昭和 55 年 (1980年) 度
行事大会		<ul style="list-style-type: none"> <li>○創立30周年記念野営大会 8月3日～6日 632名参加 防府市 航空自衛隊第一航空教育隊防府南基地</li> <li>○記念誌『30年のあゆみ』発行</li> <li>○昭和54年度県連スカウトフォーラム 3月22日～23日 山口市 山口ユースホステル研修所 参加スカウト30名</li> <li>○スカウト週間 714名参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回カブラリー 第1, 2地区 岩国市 10月26日 C.S.、L 396名 他504名 第3, 6地区 防府市 11月31日 C.S.、L 124名 他 79名 第4, 5地区 宇部市 11月23日 C.S.、L 232名 他232名</li> <li>○スカウト週間 599名参加</li> </ul>
ジャンボリー シニア大会 全国スカウト フォーラム 海外派遣			<ul style="list-style-type: none"> <li>○中国童子軍第1回高雄キャンプ派遣 7月3日～11日 下関第11団 吉武勇司ボーイ隊長</li> <li>○第3回全国スカウトフォーラム 9月14日～15日 山梨県 ボーイスカウト日本連盟山中野営場 代表スカウト 下関第7団 中野正志</li> <li>○第10回タイジャンボリー派遣 12月24日～1月5日 下関第6団 堀元勇治</li> </ul>
県連盟総会		小郡町 小郡町公民館 6月3日	光市 光井公民館 6日8日
講習会 研修会		<ul style="list-style-type: none"> <li>○第53回指導者講習会 6月30日～7月1日 下関市 下関市立青年の家 主任講師 武内正一 修了者14名</li> <li>○第54回指導者講習会 9月8日～9日 岩国市 岩国市立青年の家 主任講師 村上智真 修了者24名</li> <li>○第55回指導者講習会 2月3日～4日 山口市 山口ユースホステル研修所 主任講師 武内正一 修了者37名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第56回指導者講習会 6月28日～29日 光市 立野野営場 主任講師 村上智真 修了者21名</li> <li>○第57回指導者講習会 1月31日～2月1日 萩市 山口県立萩青年の家 主任講師 古田 弘 修了者14名</li> <li>○救急法研修会 4月24日～25日 防府市 右田福祉センター 主任講師 三坂玉良 参加者9名</li> </ul>
研修所 特修所		○ウッドパッジ研修所ボーイスカウト課程山口第2期 山口市 糸米野営場 10月7日～10日 所長 武内正一 修了者23名(県内20名)	○ウッドパッジ研修所シニアスカウト課程第1期 ・10月9日～12日の間、山口市糸米野営場において武内正一所長で開設予定のところ、入所希望者6名のため開設中止となる。
登録状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>○44団85隊(CS隊32, BS隊45, SS隊7, RS隊1) 27班(SS班23, RS班4)</li> <li>○加盟員 2,813名</li> <li>○新規登録団 防府第6団</li> <li>○復活登録団 秋穂第1団</li> <li>○登録未了団 山口第1団, 下関14回, 豊浦1団, 萩第4団</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○44団89隊(CS隊35, BS隊45, SS隊8, RS隊1) 26班(SS班22, RS班4)</li> <li>○加盟員 2,884名</li> <li>○新規登録団 下関第16回</li> <li>○復活登録団 豊浦第1団</li> <li>○登録未了団 秋穂第1団</li> </ul>
日本連盟の動き			○カブスカウトの進歩課目改正
全国会議		東京都 三和銀行東京ビル 5月26日～27日 大久保(理), 武内(コ), 亀山(加), 桑田(加), 小島(日), 河野(日)	岐阜市 岐阜グランドホテル 4月24日～25日 大久保(理), 武内(コ), 福本(加), 亀山(加), 小島(日), 河野(日)
ブロック会議		岡山市 2月16日～17日 武内(コ), 亀山(事) 出席	広島市 2月20日～21日 大久保(理), 武内(コ), 亀山(事) 出席
その他			○中国新聞社サマーキャンプ援助 8月10日～12日 阿武郡阿東町 山口県十種ヶ峰野外活動センター 8名奉仕
事務局・需品部		(事) 山口市蒲町 亀山俊雄方 (需) 下松市元町東 永松省治方	(事) 山口市蒲町 亀山俊雄方 山口市中農町 (12月25日より) (需) 下松市元町東 永松省治方

註(理)は理事長又は代理、(コ)はコミッショナー又は代理、(加)は加盟団代表、(日)は日本連盟役員、(事)は事務局長又は代理

# '81・'82

項目	年度	昭和 56 年 (1981年) 度	昭和 57 年 (1982年) 度
行事大会		○スカウト週間 758名参加	○昭和57年度県連スカウトフォーラム 4月17日～18日 山口市 山口ユースホステル研修所 参加スカウト21名 ○ボーイスカウト日本連盟創立60周年記念キャラバン参加 下関市～岩国市 7月25日～27日 ○スカウト週間 1,276名参加
ジャンボリー シニア大会 全国スカウト フォーラム 海外派遣			○第8回日本ジャンボリー 8月2日～6日 宮城県白石市南蔵王山麓 出発7月31日 帰着8月9日 派遣隊7隊280名 12SC奉仕隊4名 県連本部7名 GHQ奉仕9名 SHQ奉仕隊4名 合計311名 ○第4回全国スカウトフォーラム 8月21日～23日 山梨県 ボーイスカウト日本連盟山中野営場 代表スカウト 萩第6団 金子成志 ○第13回オーストラリアジャンボリー派遣 12月30日～1月6日 下関第6団 堀元勇治
県連盟総会		小郡町 小郡町公民館 6月28日	宇部市 宇部市総合福祉センター 6月20日
講習会 研修会		○第58回指導者講習会 7月5日 下関市 勝山公民館 主任講師 武内正一 修了者42名 ○第59回指導者講習会 8月23日 山口市 山口ユースホステル研修所 主任講師 西村剛一 修了者63名 ○第60回指導者講習会 8月30日 岩国市 横山自治会館 主任講師 西村剛一 修了者73名	○第61回指導者講習会 11月28日 小野田市 小野田市民館 主任講師 西村剛一 修了者36名 ○第62回指導者講習会 2月6日 萩市 萩市民館 主任講師 古田 弘 修了者19名 ○第63回指導者講習会 3月13日 下松市 下松市民館 主任講師 西村剛一 修了者33名
研修所 特修所		○ウッドバッジ研修所カブスカウト課程山口第2期 下関市 下関市立青年の家 9月12日～15日 所長 西村剛一 修了者39名(県内23名)	
登録状況		○43団90隊 (CS隊36, BS隊44, SS隊9, RS隊1) 27班 (SS班22, RS班5) ○加盟員 2,992名 ○新規登録団 防府第7団 ○復活登録団 山口第1団, 秋穂第1団 ○登録未了団 山口第5団, 下関第1団, 豊浦第1団, 須佐第1団	○44団91隊 (CS隊37, BS隊44, SS隊9, RS隊1) 30班 (BS班1, SS班21, RS班8) ○加盟員 3,038名 ○新規登録団 なし ○復活登録団 豊浦第1団, 美祇第2団 ○登録未了団 秋穂第1団
日本連盟の動き			○ボーイスカウト日本連盟創立60周年記念式典 11月7日 東京都 京王プラザホテル 大久保(理), 武内(コ), 亀山(事), 小島(日), 河野(日), 村上(日) 出席
全国会議		熱海市 熱海観光会館 5月23日～24日 大久保(理), 武内(コ), 岸村(加), 伊藤(加) 出席	山形市 山形市民会館 5月22日～23日 大久保(理), 武内(コ), 津村(加), 亀山(加) 出席
ブロック会議		山口市 12月5日～6日 大久保(理), 武内(コ), 亀山(事) 奉席者11名	松江市 12月11日～12日 大久保(理), 武内(コ), 亀山(事) 出席
その他		○末山正顕副連盟長逝去 9月17日 ○本年度より指導者講習会を1泊2日から1日課程に変更 ○県連盟登録費値上げ 1 隊 1,000円(据え置き) 加盟員 800円(300円値上げ) ○事務局経費として加盟員1人400円を負担 ○第9回環境週間「植樹行事」に参加 6月7日 山口市 100名, 萩市 100名	
事務局・需品部		(事) 山口市中園町 亀山俊雄方 (需) 下松市元町東 永松省治方	(事) 山口市中園町 亀山俊雄方 (需) 下松市元町東 永松省治方

略称：ビーバースカウト→BVS、カブスカウト→CS、ボーイスカウト→BS、シニアスカウト→SS、ローバースカウト→RS



項目	年度	昭和 58 年 (1983年) 度	昭和 59 年 (1984年) 度
行事大会		<ul style="list-style-type: none"> <li>○昭和58年度県連スカウトフォーラム 3月24日～25日 山口市 防長青年館 参加スカウト14名</li> <li>○スカウト週間 512名参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スカウト週間 262名参加</li> </ul>
ジャンボリー シニア大会 全国スカウト フォーラム 海外派遣			<ul style="list-style-type: none"> <li>○第5回全国スカウトフォーラム 7月24日～26日 宮城県 蔵王少年自然の家 代表スカウト 下関第6団 宮城 淳</li> <li>○第1回シニアスカウト大会 7月28日～8月3日 主会場 宮城県白石市南蔵王山麓 派遣隊 1隊21名、GHQ奉仕3名、SHQ奉仕5名、 合計29名</li> </ul>
県連盟総会		小郡町 小郡明公民館 6月19日	下関市 下関市民館 6月17日
講習会 研修会		<ul style="list-style-type: none"> <li>○第64回指導者講習会 7月3日 下関市 勝山公民館 主任講師 西村樹一 修了者21名</li> <li>○第65回指導者講習会 8月27日 柳井市 柳井市福祉センター 主任講師 西村樹一 修了者60名</li> <li>○第66回指導者講習会 2月5日 防府市 防府市文化福祉会館 主任講師 西村樹一 修了者39名</li> <li>○第1回ボーイスカウト救急法講習会 1月28日～29日 下関市 下関市立青年の家 主任講師 武内正一 修了者17名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第67回指導者講習会 8月26日 徳山市 徳山市市民会館 主任講師 小林信子 修了者40名</li> <li>○第68回指導者講習会 2月17日 萩市 萩総合福祉センター 主任講師 古田 弘 修了者21名</li> <li>○第2回ボーイスカウト救急法講習会 8月25日～26日 岩国市 サンライフ岩国 主任講師 武内正一 修了者26名</li> <li>○カブ年齢未滿プログラム説明会 3月24日 山口市 山口ユースホステル研修所 主任講師 西村 樹一 参加者26名</li> </ul>
研修所 特修所		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ウッドハッジ研修所ボーイスカウト課程山口第3期 下関市 下関市立青年の家 所長 武内正一 修了者24名(県内20名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ウッドハッジ研修所カブスカウト課程山口第3期 下関市 下関市立青年の家 9月21日～24日 所長 西村樹一 修了者28名(県内20名)</li> </ul>
登録状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>○45団93隊(CS隊39、BS隊45、SS隊8、RS隊1) 35班(BS班3、SS班23、RS班9)</li> <li>○加盟員 2,976名</li> <li>○新規登録団 下松第4団、山口第4団</li> <li>○復活登録団 なし</li> <li>○登録未了団 豊浦第1団</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○45団91隊(CS隊37、BS隊44、SS隊8、RS隊2) 29班(BS班3、SS班18、RS班8)</li> <li>○加盟員 2,934名</li> <li>○新規登録団 大島第1団</li> <li>○復活登録団 なし</li> <li>○登録未了団 宇部13団</li> </ul>
日本連盟の動き		○シニアスカウト進級課目改正(12月4日より実施)	○カブ年齢未滿プログラムの実施決定
全国会議		宮崎市 サンホテルフェニックス 5月21日～22日 大久保(理)、武内(コ)、安田(加)、引頭(加)、小島(日)出席	伊東市 伊東観光会館 5月19日～20日 大久保(理)、武内(コ)、落合(加)、引頭(加)、小島(日)出席
ブロック会議		鳥取市 12月10日～11日 大久保(理)、武内(コ)、亀山(事)出席	岡山市 12月1日～2日 大久保(理)、武内(コ)、亀山(事)出席
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>○中国新聞社サマーキャンプ援助 8月2日～4日 以 列郡錦町羅漢山 37名奉仕</li> <li>○県連盟事務局10月1日より防長青年館に移転</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○渡辺昭ボーイスカウト日本連盟総長。堀江宏登録課長御来県 6月16日～18日</li> <li>○旅費並びにこれに伴う諸雑費規定、給与規定。就業規則を4月1日より施行</li> </ul>
事務局・需品部		(事) 山口市中園町 亀山俊雄宅 山口市神田明防長青年館内(10月1日) (需) 下松市元町東 永松省治方	(事) 山口市神田明防長青年館内 (需) 下松市元町東 永松省治方

部門別の年齢 BVS: 小学校1年就学直前の1月～小学校2年, CS: 小学校2年生2学期修了後～小学校5年生, BS: 小学校5年9月～中学校3年生。



# '85・'86



項目	年度 昭和 60 年 (1985年) 度	昭和 61 年 (1986年) 度
行事大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昭和60年度県連スカウトフォーラム 3月22日～23日 山口市 防長青年館 参加スカウト14名</li> <li>○スカウト週間 460名参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スカウト週間 432名参加</li> </ul>
ジャンボリー シニア大会 全国スカウト フォーラム 海外派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第11回アメリカジャンボリー派遣 7月21日～8月10日 下関第11団 吉武真輝</li> <li>○国際青年年GS・BS青年シンポジウム 7月24日～28日 静岡県御殿場市 国立青年の家 岩国第1団 RS井上新太郎参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第9回日本ジャンボリー 8月2日～6日 宮城県白石市南蔵王山麓 山笠 7月31日 帰着 8月9日 派遣隊7隊280名、県連本部4名、GHQ奉仕5名、 SHQ奉仕8名、合計297名</li> <li>○第6回全国スカウトフォーラム 8月22日～24日 山梨県 ボーイスカウト日本連盟山中野営場 代表スカウト 防府第4団 中村竜一</li> </ul>
県連盟総会	小郡町 小郡町ふれあいセンター 6月16日	萩市 萩市民館 6月15日
講習会 研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第69回指導者講習会 6月23日 下関市 勝山公民館 主任講師 小林信子 修了者34名</li> <li>○第70回指導者講習会 7月7日 岩国市 逸津公民館 主任講師 西村樹一 修了者51名</li> <li>○第71回指導者講習会 2月9日 防府市 防府市文化福祉会館 主任講師 西村樹一 修了者46名</li> <li>○第3回ボーイスカウト課程山口第3期 山口市 山口ユースホステル研修所 主任講師 西村樹一 修了者13名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第72回指導者講習会 6月3日 徳山市 今宿公民館 主任講師 西村樹一 修了者19名</li> <li>○第73回指導者講習会 2月8日 萩市 萩市民館 主任講師 古田 弘 修了者15名</li> <li>○第74回指導者講習会 3月15日 小野田市 小野田市民館 主任講師 吉武勇司 修了者15名</li> <li>○ビーバープログラム説明会 主任講師 西村樹一 柳井会場 ルンビニ保育園 6月29日 参加者34名 萩会場 萩総合福祉センター 7月13日 参加者15名 防府会場 佐渡学習等供用会館 2月1日 参加者16名</li> </ul>
研修所 特修所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ウッドバッジ研修所ボーイスカウト課程山口第3期 下関市 下関市立青年の家 8月22日～25日 所長 武内正一 修了者21名(県内17名)</li> </ul>	
登録状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○43団93隊(CS隊37, BS隊43, SS隊10, RS隊3) 30班(BS班3, SS班20, RS班7)</li> <li>○加盟員 2,772名</li> <li>○新規登録団 なし</li> <li>○復活登録団 なし</li> <li>○登録未了団 なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○42団96隊(BVS隊5, CS隊37, BS隊42, SS隊9, RS隊3) 30班(BS班3, SS班20, RS班7)</li> <li>○加盟員 2,580名</li> <li>・新規登録団 なし</li> <li>○復活登録団 なし</li> <li>○登録未了団 なし</li> </ul>
日本連盟の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カブ年齢未満プログラム(ビーバー)実施に移される</li> <li>○技能章課目新設(18課目) スカウト章、拳法章、空手道章、登山章、カヌー章、ヨット章、アーチ ェリー章、オリエンテーリング章、釣り章、弓道章、エネルギー章、簿 記章、茶道章、書道章、コンピュータ章、文化財保護章、伝統芸能章、 手話章</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボーイスカウト日本連盟加盟登録料値上げ 加盟費1人当り800円(300円値上げ) 隊登録料は従前どおり1隊につき1,000円</li> <li>○ビーバー部門に関する規定改正、ビーバースカウト正式に発足</li> <li>○カブスカウト隊の継続登録に関する特別措置が実施される</li> </ul>
全国会議	新潟市 新潟県歯科医師会館 5月18日～19日 大久保(理)、武内(コ)、井関(加)、引頭(加)、小島(加)出席	熱海市 熱海観光会館 5月17日～18日 大久保(理)、池田(コ)、市川(加)、引頭(加)、武内(日)出席
ブロック会議	広島市 11月18日～19日 池田(コ)、引頭(事)出席	山口市 11月29日～30日 大久保(理)、武内(コ)、亀山(事)出席 8名
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事務局経費1人当り400円を200円に値下げ</li> <li>○ビーバープログラム試行隊発足(2隊) 小郡第1団 6月5日 下関第7団 7月31日</li> <li>○ボーイスカウト日本連盟島村俊行ビーバー委員、下関第7団ビーバープ ログラム試行隊を訪問</li> <li>○山口県スカウト運動維持財団第2次募金計画(2千万円)が始まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第14回環境週間「記念植樹行事」参加 6月8日 山口市 30名 萩市 40名</li> <li>○7月1日より県連盟需品部、県連盟事務局内に移転し業務を開始する</li> </ul>
事務局・需品部	(事) 山口市神田町防長青年館内 (需) 下松市元町東 永松省治方	(事) 山口市神田町防長青年館内 (需) 下松市元町 永松省治方(7月1日より県連盟事務局内)

SS: 中学校3年8月～高校卒業または満19歳、RS: 18歳以上



項目	年度	昭和 62 年 (1987年) 度	昭和 63 年 (1988年) 度
行事大会		<ul style="list-style-type: none"> <li>○昭和62年度県連盟スカウトフォーラム 3月20日～21日 山口市 山口ユースホステル研修所 参加スカウト19名</li> <li>○スカウト週間 432名参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボーイスカウト山口県連盟創立40周年記念野営大会 徳山市周南緑地公園東緑地 BVS・CS 8月19日～20日 BS・SS 8月18日～21日 参加者 1,262名</li> <li>○ボーイスカウト山口県連盟創立40周年記念式典 徳山市周南緑地公園補助競技場 8月19日 18時30分開場</li> <li>○スカウト週間 481名参加</li> </ul>
ジャンボリー シニア大会会 全国スカウト フォーラム 海外派遣		<ul style="list-style-type: none"> <li>○第16回世界ジャンボリー派遣 (オーストラリア) 12月21日～1月11日 指導者 市川 照 (光第2回) スカウト 西村博人(宇部第11回)、松山啓一、由良忠弘、 吉武真輝(以下下関第11回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第7回全国スカウトフォーラム 7月27日～29日 山梨県 ボーイスカウト日本連盟山中野営場 代表スカウト 防府第4回 中村 薫</li> <li>○第2回シニアスカウト大会 7月29日～8月6日 主会場 静岡県富士宮市朝霧高原 派遣隊 2隊38名 SHQ奉仕1名 合計39名</li> <li>○第15回オーストラリアジャンボリー派遣 12月23日～1月11日 下関市第6回 西村 勝</li> </ul>
県連盟総会		小郡町 小郡町ふれあいセンター 6月21日	岩国市 岩国中央公民館 6月26日
講習会 研修会		<ul style="list-style-type: none"> <li>○野営法講習会 (1コースを3回に分けて実施) 参加者7名 5月19日～20日 山口市 主任講師 武内正一 6月13日～14日 山口市 主任講師 武内正一 7月18日～19日 下関市 主任講師 吉武勇司</li> <li>○第75回指導者講習会 6月7日 田布施町 農村環境改善センター 主任講師 武内正一 修了者14名</li> <li>○第76回指導者講習会 6月28日 下関市 勝山公民館 主任講師 小林信子 修了者22名</li> <li>○第77回指導者講習会 3月27日 山口市 防長青年館 主任講師 池田信幸 修了者45名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第78回指導者講習会 10月23日 由宇町 由宇町文化会館 主任講師 市川 照 修了者38名</li> <li>○第79回指導者講習会 1月29日 徳山市 徳山市民館 主任顧問 市川 照 修了者32名</li> <li>○第80回指導者講習会 2月5日 2月5日萩市において開催予定のところ都合により中止</li> <li>○第81回指導者講習会 2月12日 宇部市 新川市民センター 主任講師 小坂保博 修了者 名</li> <li>○第4回ボーイスカウト救急法講習会 11月12日～13日 山口市 山口ユースホステル研修所 主任講師 益田宗親 修了者37名</li> </ul>
研修所 特修所		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ビーバー隊長特修所山口第1期 山口市 山口ユースホステル研修所 10月9日～11日 所長 小林信子 修了者13名(県内7名)</li> <li>○ウッドバッジ研修所ボーイスカウト課程山口第5期を9月12日から15日まで、小野田市立江汐野営場で開設予定のところ、入所希望者4名のためやむなく開設中止となった。</li> </ul>	
登録状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>○41団98隊 (BVS隊7, CS隊38, BS隊41, SS隊9, RS隊3) 29班 (BS班1, SS班21, RS班7)</li> <li>○加員員 2,406名</li> <li>○新規登録団 なし</li> <li>○復活登録団 なし</li> <li>○登録未了団 鹿野第1団</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○40団95隊 (BVS隊12, 25班 (BS班1, SS班16, RS班8))</li> <li>○加員員 2,244名</li> <li>○新規登録団 秋穂第1団</li> <li>○復活登録団 なし</li> <li>○登録未了団 大島第1団</li> </ul>
日本連盟の動き		<ul style="list-style-type: none"> <li>○おきての改正 (12→8) 昭和63年4月1日実施</li> <li>○ビーバー (BV) の名称をビーバースカウト (BVS) に変更</li> <li>○ビーバースカウトに関する教育規定の改正</li> <li>○隊委影響40年塚の制定</li> <li>○事務局長交代 石川一郎→荒尾雅也</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スカウト章 (世界スカウト章も含む) の取り扱いに関する取り決めが4月1日から実施される</li> <li>○土光敏夫第4代日本連盟総長 8月4日御逝去</li> </ul>
全国会議		横浜市 神奈川県立青少年センター 5月16日～17日 大久保(理)、市川(コ)、井関(加)、引頭(加)、武内(日) 出席	秋田市 秋田市文化会館 5月26日～27日 井関(理)、市川(コ)、浅野(加)、引頭(加)、亀山(日) 出席
ブロック会議		松江市 11月28日～29日 市川(コ)、亀山(事)、出席	鳥取市 11月26日～27日 安田(理)、市川(コ)、亀山(事) 出席
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>○武内正一理事長 7月8日御逝去</li> <li>○長富春一名誉会議員12月2日御逝去</li> <li>○日本生命財団より事業助成 (125万円) を受ける</li> <li>○ボーイスカウト日本連盟組織拡大補助金により、電話ファクシミリを設置する。10月1日より使用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県連盟規約一部改正 ・役員任期の明確化 ・広報特別委員会の設置</li> <li>○年次総会に分科会を取り入れる</li> <li>○ペルースカウト連盟 Mr. Pedro Ruiz Hurtado (カブ担当副シヨナルコミッショナー) 受け入れ 10月21日～23日 下関市</li> <li>○1月8日より平成と改元される。</li> <li>○中丸岩吉県連盟長老 1月30日御逝去</li> </ul>
事務局・需品部		山口市神田町 防長青年館内	山口市神田町 防長青年館内

註) 昭和63年度は11月30日現在

歴代県連盟役員名簿 (昭和54年度～昭和63年度)

役員名	年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度
連盟長		平井 龍	平井 龍	平井 龍	平井 龍	平井 龍
副連盟長		井上 謙治 末山 正顕	井上 謙治 末山 正顕	井上 謙治 末山 正顕	井上 謙治 佐々木 英治	井上 謙治 佐々木 英治
理事長		大久保 英夫	大久保 英夫	大久保 英夫	大久保 英夫	大久保 英夫
副理事長		井桑 益 関田 澄信 田 雄行親	井桑 益 関田 澄信 田 雄行親	井桑 益 関田 澄信 田 雄行親	井桑 益 関田 澄信 田 雄行親	井桑 益 関田 澄信 田 雄行親
地区代表理事 (1) (2) (3) (4) (5) (6)		中井 村 太 郎 桑 関 澄 雄 須 田 信 行 安 子 素 秀 津 田 村 秋 和 彦	中井 村 太 郎 桑 関 澄 雄 落 田 合 行 安 津 村 夫 夫 彦	岸 村 正 昭 井 関 澄 雄 桑 田 合 行 落 安 津 村 夫 夫 彦	岸 村 正 昭 井 関 澄 雄 桑 田 合 行 落 安 津 村 夫 夫 彦	岸 村 正 昭 井 関 澄 雄 桑 田 合 行 落 安 津 村 夫 夫 彦
学識経験者理事		東 條 孝 和 大 久 保 英 夫 太 岡 河 小 永 益 松 野 島 久 松 田 尾 野 島 久 松 田 尾 永 永 益 松	東 條 孝 和 大 久 保 英 夫 太 岡 河 小 永 益 松 野 島 久 松 田 尾 野 島 久 松 田 尾 永 永 益 松	富 永 和 信 阿 大 久 保 英 夫 太 小 新 須 永 永 益 松 須 永 永 益 松 福 益 松 横	濱 本 研 一 阿 大 久 保 英 夫 太 小 新 須 永 永 益 松 須 永 永 益 松 福 益 松 横	濱 本 研 一 阿 大 久 保 英 夫 太 小 新 須 永 永 益 松 須 永 永 益 松 福 益 松 横
県コミッショナー		武 内 正 一	武 内 正 一	武 内 正 一	武 内 正 一	武 内 正 一
県副コミッショナー		上 田 敬 正 西 村 柁 一 古 田 上 智 弘 真	西 村 柁 一 古 田 上 智 弘 真	西 村 柁 一 古 田 上 智 弘 真	西 村 柁 一 古 田 上 智 弘 真	西 村 柁 一 古 田 上 智 弘 真
名誉会議員		岸 村 正 昭 河 野 章 二 太 田 野 耕 三 玉 野 原 常 雄 瀧 原 信 義 安 田 秋 夫 横 山 貞 次	岸 村 正 昭 河 野 章 二 玉 野 原 常 雄 瀧 原 信 義 小 横 山 貞 次	岸 福 村 正 昭 玉 本 野 康 二 瀧 野 原 常 三 瀧 原 信 義 小 横 山 貞 次	岸 福 村 正 昭 玉 本 野 康 二 瀧 野 原 常 三 瀧 原 信 義 小 横 山 貞 次	森 山 梭 一 福 本 好 康 三 好 啓 瀧 原 常 信 小 横 山 貞 次
監事		阿 部 薫 隆 西 林 直 輝	阿 部 薫 隆 西 林 直 輝	阿 部 薫 隆 西 林 直 輝	阿 部 薫 隆 西 林 直 輝	阿 部 薫 隆 西 林 直 輝
事務局長		亀 山 俊 雄	亀 山 俊 雄	亀 山 俊 雄	亀 山 俊 雄	亀 山 俊 雄
事務局次長		引 頭 義 男	引 頭 義 男	引 頭 義 男	引 頭 義 男	引 頭 義 男
事務局職員		伊 藤 光	伊 藤 光	伊 藤 光	伊 藤 光	遠 藤 夕 美 子



歴代県連盟役員名簿 (昭和59年度～昭和63年度)

	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度
連盟長	平井 龍	平井 龍	平井 龍	平井 龍	平井 龍
副連盟長	井上 謙治 佐々木 英治	高山 治治 佐々木 英治	高山 治治 佐々木 英治	高山 治治 佐々木 英治 大久保 英夫	高山 治治 佐々木 英治 大久保 英夫
理事長	大久保 英夫	大久保 英夫	大久保 英夫	武内正一(～7月) 益田宗親(8月～)	益田 宗親
副理事長	井関 澄雄 桑田 信宗 益田 宗親	井関 澄雄 桑田 信宗	井関 澄雄 益田 宗親	井関 澄雄 益田宗親(7月～)	井関 澄雄 安田 秋夫
地区代表理事(1) (2) (3) (4) (5) (6)	岸村 正昭 井関 澄雄 桑田 信夫 落合 保夫 安津 秋和	岸村 正昭 井関 澄雄 桑田 信夫 落合 保夫 安津 秋和	岸村 正昭 井関 澄雄 桑田 信夫 落合 保夫 安津 秋和	浅井 野知也 桑田 関澄 落合 信保 安津 保秋 安津 秋和	浅井 野知也 桑田 関澄 落合 信保 安津 保秋 安津 秋和
学識経験者理事	濱本 研一 阿久保 勇 太田 英 小島 耕 須田 孝 永福 素 益松 省 三横 康 宗尚 好山 啓 貞	濱本 研一 阿久保 勇 太田 英 小島 耕 須田 孝 永福 素 益松 省 三横 康 宗尚 好山 啓 貞	濱本 研一 阿久保 勇 太田 英 小島 耕 須田 孝 永福 素 益松 省 三横 康 宗尚 好山 啓 貞	丸田 至 阿久保 祐 太田 作 小島 悳 須田 洋 永福 秀 益松 人 三横 親 宗尚 之 尚貞 治 貞 次	冲野 守 阿久保 祐 太田 作 小島 悳 須田 洋 永福 秀 益松 人 三横 親 宗尚 之 尚貞 治 貞 次
県コミッショナー	武内 正一	武内 正一	武内 正一	市川 照	市川 照
県副コミッショナー	西村 柁一 古田 弘	池田 信幸 市川 柁一 西村 弘	池田 信幸 市川 柁一 西村 弘	池田 信幸 市川 柁一 西村 弘	池田 信幸 市川 柁一 西村 弘
名誉会議員	森山 一 福本 治 三好 啓 瀧原 常 小原 信 瀧林 友 大津 友	森山 一 福本 治 三好 啓 瀧原 常 小原 信 瀧林 友 大津 友	森山 一 福本 治 三好 啓 瀧原 常 小原 信 瀧林 友 大津 友	森山 一 福本 治 三好 啓 瀧原 常 小原 信 瀧林 友 大津 友	森山 一 福本 治 三好 啓 瀧原 常 小原 信 瀧林 友 大津 友
監事	阿部 隆 西林 直 輝	阿部 隆 西林 直 輝	阿部 隆 西林 直 輝	阿部 隆 西林 直 輝	阿部 隆 西林 直 輝
事務局長	亀山 俊雄	亀山 俊雄	亀山 俊雄	亀山 俊雄	亀山 俊雄
事務局次長	引頭 義男	引頭 義男	引頭 義男	引頭 義男	引頭 義男
事務局職員	遠藤 夕美子	遠藤 夕美子	遠藤 夕美子	遠藤 夕美子	遠藤 夕美子

## 栄光ある叙勲・褒章受章者

### ◎ 叙勲受章者 ◎

昭和52年春 中丸岩吉 勲六等瑞宝章  
昭和56年春 小澤太郎 勲一等瑞宝章  
昭和58年秋 大久保英夫 勲五等双光旭日章  
昭和62年 (故)武内正一 正六位勲五等瑞宝章

### ◎ 褒章受彰者 ◎

昭和55年秋 河野章二 藍綬褒章

## 表彰受彰者

### ◎ 文部大臣表彰 ◎

昭和61年 小島孝悳 (学識経験者理事)

### ◎ 山口県選奨 ◎

昭和54年 小島孝悳 (学識経験者理事)	昭和60年 横山貞次 (学識経験者理事)
昭和55年 大久保英夫 (理事長)	昭和61年 太田耕作 (学識経験者理事)
昭和56年 永松省治 (学識経験者理事)	昭和62年 古田弘 (県副コミッショナー)
昭和57年 亀山俊雄 (事務局長)	昭和63年 益田宗親 (理事長)
昭和59年 武内正一 (県コミッショナー)	

### ◎ 山口県教育委員会選奨 ◎

昭和32年 中丸岩吉 (名誉会議員)	昭和58年 瀧原常雄 (名誉会議員)
昭和33年 ボーイスカウト岩国第1団	昭和59年 益田宗親 (副理事長)
昭和36年 永松省治 (事務局長)	昭和59年 安田秋夫 (第5地区理事)
昭和45年 永久鉄也 (事務局長)	昭和60年 引頭義男 (事務局次長)
昭和52年 亀山俊雄 (事務局長)	昭和61年 西林富男 (監事)
昭和53年 小島孝悳 (学識経験者理事)	昭和61年 津村和彦 (第6地区理事)
昭和54年 武内正一 (県コミッショナー)	昭和62年 阿部薫隆 (監事)
昭和55年 横山貞次 (学識経験者理事)	昭和62年 三坂玉良 (第3地区健康安全委員長)
昭和56年 岡寺正夫 (参与)	昭和63年 井関澄雄 (副理事長)
昭和57年 太田耕作 (学識経験者理事)	
昭和57年 古田弘 (県副コミッショナー)	

## 表彰受彰者

### ◎ ボーイスカウト日本連盟表彰(昭和54年以降) ◎

#### ◆ たか章 ◆

昭和54年 大久保 英 夫 (理事長)	昭和58年 西 村 柗 一 (県副コミッショナー)
昭和55年 武 内 正 一 (県コミッショナー)	昭和58年 古 田 弘 (県副コミッショナー)
昭和56年 平 井 龍 (連盟長)	昭和59年 瀧 原 常 雄 (名誉会議員)
	昭和61年 引 頭 義 男 (事務局次長)

#### ◆ かつこう章 ◆

昭和54年 上 野 泰 義 (第6地区理事)	昭和61年 益 田 宗 親 (副理事長)
昭和58年 西 林 直 輝 (監事)	昭和61年 須 子 素 秀 (学識経験者理事)
昭和59年 阿 部 薫 隆 (監事)	昭和63年 井 関 澄 雄 (副理事長)
昭和60年 井 上 謙 治 (副連盟長)	昭和63年 吉 武 勇 司 (県副コミッショナー)
昭和60年 安 田 秋 夫 (第5地区理事)	
昭和60年 岸 村 正 昭 (第1地区理事)	

### ◎ ボーイスカウト山口県連盟表彰(昭和54年度以降) ◎

#### ◆ 県連特別有功章 ◆

昭和62年 堀 初 義 (山陽第1団カブ隊長)	昭和63年 山 田 義 昭 (防府第4団副団委員長)
-------------------------	----------------------------

#### ◆ 県連有功章 ◆

昭和54年 伊 藤 光 (県連事務局員)	昭和56年 池 信 宏 證 (三隅第1団ボーイ隊長)
新 庄 菊 子 (岩国第1団カブ隊長)	昭和57年 (故)大西賢一良 (第5地区財政委員長)
山 田 義 昭 (防府第4団ボーイ隊長)	昭和58年 阿 部 薫 隆 (監事)
井 上 文 雄 (第5地区コミッショナー)	桑 田 信 行 (第3地区理事)
下 川 昭 治 (防府第1団団委員長)	佐 伯 正 道 (宇部第11団団委員長)
上 田 敬 正 (第2地区コミッショナー)	井 関 澄 雄 (副理事長)
児 玉 洋 (柳井第1団副団委員長)	新 庄 良 男 (学識経験者理事)
岡 本 恵 達 (小郡第1団カブ隊長)	昭和59年 益 田 宗 親 (副理事長)
吉 武 勇 司 (第5地区副コミッショナー)	須 子 素 秀 (学識経験者理事)
昭和55年 棟 近 隆 (岩国第5団ボーイ団長)	昭和60年 小 坂 保 博 (第1地区コミッショナー)
重 川 恭 年 (防府第2団ボーイ隊長)	塚 田 美 智 子 (岩国第1団カブ隊副長)
檜 崎 則 民 (下関第6団ボーイ隊長)	坂 井 紀 子 (岩国第4団カブ隊副長)
小 林 信 義 (下関第7団団委員長)	鮎 川 政 和 (岩国第1団カブ隊長)
明 石 誠 一 (徳山第4団カブ隊長)	勝 田 直 (第4地区コミッショナー)
藤 本 勲 (防府第5団カブ隊長)	井 原 善 昭 (柳井第3団カブ隊長)
堀 初 義 (山陽第1団ボーイ隊長)	(故)末 広 精 志 (岩国第3団育成会長)
波多野 恵 見 (萩第6団団委員長)	昭和61年 増 本 真 一 (岩国第3団ボーイ隊長)
松 野 盛 夫 (小野田第1団副団委員長)	増 本 信 昭 (岩国第3団ボーイ隊副長)



## 表彰受彰者

昭和61年 福本康人（学識経験者理事）	昭和62年 永田美津生（第3地区コミッショナー）
磯部勝由（徳山第1団副団委員長）	（故）古川礼郎（岩国第3団団委員）
落合保夫（第4地区理事）	昭和63年 遠藤信康（第3地区副コミッショナー）
河野宗昭（第6地区コミッショナー）	松野清和（第4地区コミッショナー）
小松崎洋二（下関第11団ボーイ隊副長）	池田信幸（県副コミッショナー）
	志賀拓司（小郡第1団ボーイ隊長）

### ◆ 県連感謝章 ◆

昭和54年 田中洋輔（防府市）	昭和59年 廣谷修四郎（岩国第1団団委員）
菊元直次郎（岩国暁団育成会長）	昭和60年 岩崎友治（岩国第1団団委員）
山田政俊（防府第5団育成会長）	川添常一（田布施第1団団委員）
井関澄雄（徳山第4団団委員）	石本栄馬（山陽第1団育成会長）
末広精志（岩国第3団育成会長）	昭和61年 光永源槌（小郡第1団団委員）
中村政一（小郡第1団育成会長）	弘中佑児（下松第4団団委員）
永富正志（宇部第15団）	（故）松本誠人（元萩第3団団委員長）
岡寺正夫（徳山第4団団委員）	（故）林トラ（下関市スカウト後援会副会長）
昭和55年 阿部薫隆（防府第1団団委員）	前田克巳（下関第7団副団委員長）
島田明（防府第4団団委員長）	佐伯伝治（萩第3団団委員長）
中丸岩吉（下関第2団副団委員長）	昭和62年 日高光男（山陽第1団団委員長）
昭和56年 河野章二（学識経験者理事）	昭和63年 下関ライオンズクラブ（下関市）
井納清（下関第6団副団委員長）	森一弘（下関第7団育成会長）
昭和57年 周防友彌（防府第4団育成会長）	山根文二（萩第3団育成会副会長）
林孝介（下関第7団団委員長）	楊井健弘（萩第3団育成会監査）
昭和58年 藤本秀雄（徳山第4団団委員長）	
福本邦一（鹿野第1団育成会長）	
和田芳男（宇部第11団副団委員長）	
西山英雄（宇部第13団団委員長）	
村田隆介（宇部第14団団委員長）	

### ◆ 善行章 ◆

昭和60年 石本裕己（山陽第1団ボーイスカウト隊員）

### ◆ 感謝状 ◆

昭和54年

#### ● スカウト運動を理解しその発展に寄与した者

野原清司（県会議員）  
 藤津春久（防府第1団）  
 西村一夫（小郡第1団）  
 井納清（下関第6団）

#### ● 3万円以上寄与した者

中丸岩吉（県連盟長老）  
 河野計雄（徳山市）

## 表彰受彰者

### ● 県連有功章を授与された者の配偶者

伊藤 千鶴子  
山田 アサ子  
下川 完枝  
上田 和美  
岡本 摩綾子  
新庄 良男  
井上 佳代子  
児玉 則子  
吉武 妙子

### ● 第7回日本ジャンボリー

小坂 保博 (岩国第1団)  
重川 恭年 (防府第2団)  
檜崎 則民 (下関第6団)  
安田 秋夫 (下関第2団)  
東 幸緒 (防府第1団)  
高山 克海 (岩国第1団)  
佐伯 正道 (宇部第11団)  
松浦 静信 (長門第1団)  
荒川 真治 (小郡第1団)

### 昭和55年

#### ● スカウト運動を理解しその発展に寄与した者

サンデン交通株式会社 (下関市)  
山口合同ガス株式会社 (下関市)  
中島 譲 (下関第7団)  
池江 喜彦 (下関市)  
木佐 徳五郎 (防府第1団)  
興国スチールワイヤー株式会社 (小野田市)  
門田 昌宏 (防府第2団)  
伊村 光 (下関市)  
橋崎 一登 (下関市)

#### ● 3万円以上寄付した者

小野田ライオンズクラブ (小野田市)  
倉富 拓巳 (下関市)  
太田 敏郎 (下関市)  
下関西ライオンズクラブ (下関市)  
五十嵐 郁郎 (下関市)  
新井 亨 (下関市)  
下関ライオンズクラブ (下関市)  
中村被服株式会社 (防府市)

#### ● 県連有功章を授与された者の配偶者

棟近 君江 重川 一枝  
堀 トシ子 小林 信子  
明石 和子 藤本 蓉子  
檜崎 叔子 波多野 妙美

#### ● 30周年記念野営大会関係

航空自衛隊第一航空教育隊 (防府市)  
長門設備工業株式会社 (防府市)  
江本建設株式会社 (防府市)  
中央電機株式会社社長 中尾 祐治  
ガールスカウト山口第1団 (防府市)  
ボーイスカウト防府第1団  
ボーイスカウト防府第3団  
ボーイスカウト防府第5団  
ボーイスカウト防府第2団  
ボーイスカウト防府第4団  
高山 岳秀 (岩国第1団)  
明石 誠一 (徳山第4団)

英 孝雄 (防府第1団)  
三坂 玉良 (防府第2団)  
藤本 隆 (防府第4団)  
真方 靖博 (防府第2団)  
重川 恭年 (防府第2団)  
原田 千代子 (防府第1団)  
岩城 満 (防府第2団)  
門田 昌弘 (防府第2団)  
青木 明夫 (防府第1団)  
永田 美津生 (防府第4団)  
引頭 義男 (小郡第1団)  
井上文雄 (下関第2団)  
ガールスカウト山口第21団 (防府市)  
伊藤 光 (山口第3団)

## 表彰受表彰者

ボーイスカウト防府第6団  
中村光延(防府第2団)  
森法房(下関第7団)  
磯部勝由(徳山第1団)  
升谷良子(防府第1団)  
小坂保博(岩国第1団)  
山田義昭(防府第4団)  
藤部俊之(宇部第13団)

藤井一男(防府第5団)  
吉武勇司(下関第11団)  
岸村正昭(岩国第3団)  
原田京子(防府第1団)  
森重豊(防府第6団)  
岡村博司(防府第1団)  
生田富四雄(宇部第13団)  
本間信行(防府第4団)

### ●30周年記念誌関係

永松省治(学識経験者理事)

### ●ウッドバッジ研修所ボーイスカウト課程山口第2期関係

三好屋楽器店社長 三好順之(山口市) 矢野テント株式会社(山口市)

### 昭和56年

#### ●スカウト運動を理解しその発展に寄与した者

守永誠(元県教社会教育主事)  
廣谷修四郎(岩国第1団)  
吉村孝一(山口第3団)  
福田雅次(萩第5団)  
藤田太一郎(下関第7団)  
高田京三(岩国第4団)  
中原生功江(萩第3団)

#### ●3年以内に10万円以上寄付した者

小島孝惇(岩国第1団)  
下関市社会福祉協議会(下関市)

#### ●県連有功章を授与された者の配偶者

池信昌子 松野シヅコ

### 昭和57年

#### ●スカウト運動を理解しその発展に寄与した者

高山清(防府第4団)  
多田健治(下関第6団)  
角清隆(山陽第1団)  
日高光男(山陽第1団)  
中島治郎(下関第7団)  
徳永計治(山陽第1団)  
薬師寺佐助(山陽第1団)

#### ●県連有功章を授与された者の配偶者

大西鶴子(下関市)

### 昭和58年

#### ●スカウト運動を理解しその発展に寄与した者

今田章(萩第5団)

#### ●3年以内に10万円以上寄付した者

植生小学校教育後援会(山陽町)

#### ●県連有功章を授与された者の配偶者

阿部富士子 井関まゆみ  
佐伯ふ美子 桑田信子  
新庄菊子

### 昭和59年

#### ●3年以内に10万円以上寄付した者

下関ライオンズクラブ(下関市)  
下関北ライオンズクラブ(下関市)

#### ●県連有功章を授与された者の配偶者

益田美須子 須子フジ子



## 表彰受彰者

### 昭和60年

●スカウト運動を理解しその発展に寄与した者

津 秋 泰 男(岩国第3団)  
 土 井 完 治(岩国第5団)  
 桑 原 法 道(柳井第3団)  
 竹 本 泰 造(熊毛第1団)  
 下 川 完 枝(防府第4団)  
 森 山 椋 一(岩国第3団)  
 児 玉 洋(柳井第1団)  
 東 南 浩(田布施第1団)  
 兼 重 正 志(熊毛第1団)  
 中 丸 岩 吉(下関第2団)

●3年以内に10万円寄付した者

黒 田 栄 次(徳山市)  
 山陽ライオンズクラブ(山陽町)  
 下関ライオンズクラブ(下関市)  
 田布施ライオンズクラブ(田布施町)  
 下関市社会福祉協議会(下関市)  
 長府ライオンズクラブ(下関市)

●県連有功章を授与された者の配偶者

小 坂 祥 子 塚 田 充  
 勝 田 多 恵 子 末 廣 シズヨ  
 井 原 由 里 子

### 昭和61年

●スカウト運動を理解しその発展に寄与した者

井 上 清(岩国第1団)  
 木 村 繁 和(岩国第5団)  
 下関吉母婦人会(下関市)  
 坂 井 純 朗(岩国第4団)  
 (故)藤 津 春 久(防府第1団)

●県連有功章を授与された者の配偶者

増 本 明 子 増 本 美 佐 江  
 落 合 喜 久 江 河 野 由 紀 子  
 福 本 明 美 磯 部 ひ ろ 子  
 小 松 崎 ひ と み

### 昭和62年

●スカウト運動を理解しその発展に寄与した者

橋 本 秀 夫(宇部第16団)

●3年以内に10万円以上寄付した者

山陽町社会福祉協議会(山陽町)  
 植生地区社会福祉協議会(山陽町)

●県連有功章を授与された者の配偶者

古 川 芙 美 子 永 田 泰 子

### 昭和63年

●スカウト運動を理解しその発展に寄与した者

森 近 勝 之(山口第2団)

●県連有功章を授与された者の配偶者

遠 藤 夕 美 子 松 野 恵 子  
 池 田 英 子 志 賀 葉 子

●創立40周年記念表彰 感謝状

大久保 英 夫(副連盟長)  
 小 島 孝 悳(学識経験者理事)  
 太 田 耕 作(学識経験者理事)  
 古 田 弘(学識経験者理事)  
 (故)武 内 正 一(元理事長)  
 引 頭 義 男(事務局次長)  
 瀧 原 常 雄(参与)  
 河 野 章 二(長老)  
 亀 山 俊 雄(事務局長)  
 永 松 省 治(参与)  
 横 山 貞 次(学識経験者理事)  
 岡 寺 正 夫(参与)  
 中 丸 岩 吉(長老)  
 西 村 榎 一(学識経験者理事)

註 日本連盟表彰の特別年功章・隊褒彰綬、県連表彰の褒状及び諸団体からの表彰は省略させていただきます

## 登録状況一覧 (昭和63年度～昭和64年度)

### ■第1地区

団隊名	年度	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
岩国 第1団	BV 隊								○	○	○
	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	RS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩国 第3団	BV 隊								○	○	○
	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS隊(働)	○	○	○	○	○	○	○	△	△	
岩国 第4団	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩国 第5団	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
柳井 第1団	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	RS 班				△	△	△				
柳井 第3団	CS 隊							○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班					△	△	△			
大島 第1団	CS 隊						○	○	○	○	
	BS 隊							○	○	○	
	SS 班								△	△	
田布施 第1団	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班	△	△				△	△	△	△	△
熊毛 第1団	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
	RS 班					△	△	△	△		

■第2地区

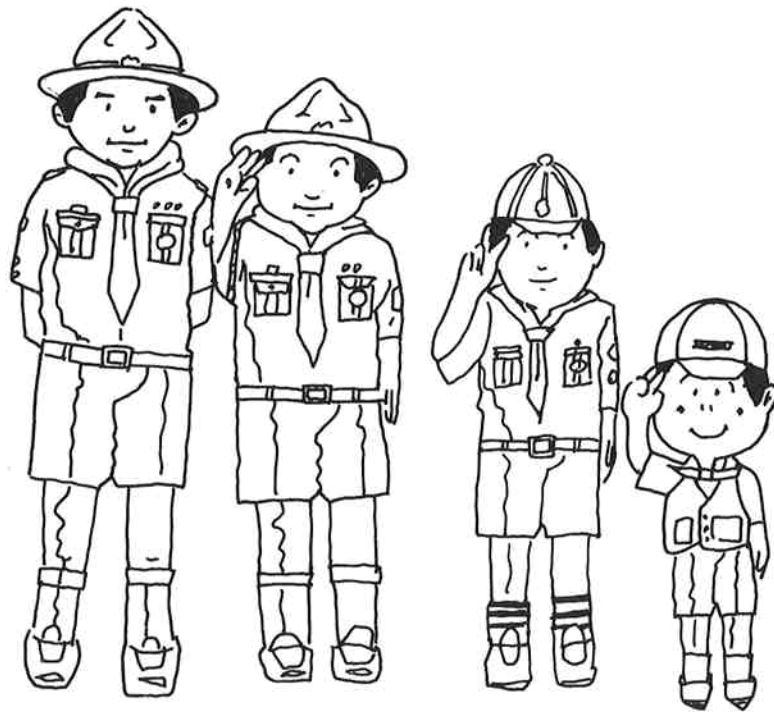
団体名	年度	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
徳山 第1団	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班	△	△	△	△	△		△	△	△	△
徳山 第4団	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班		△	△	△	△	△	△	△	△	△
下松 第1団	BV 隊								○	○	○
	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	CS2隊	○	○	○	○	○					
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS隊(班)	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○
	RS 班								△	△	△
下松 第4団	BV 隊										○
	CS 隊					○	○	○	○	○	○
	BS隊(班)					△	△	○	○	○	○
	SS 班								△	△	△
光 第2団	CS1隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	CS2隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS2隊					○	○	○			
	SS隊(班)					△	△	○	○	○	○
	RS 班									△	△
鹿野 第1団	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○		



■第3地区

団隊名	年度	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
山口 第1団	CS 隊			○	○	○	○				
	CS2隊				○	○					
	BS 隊			○	○	○	○				
	SS 隊			△							
山口 第2団	BV 隊									○	○
	CS 隊		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班	△	△	△	△			△	△	△	
	RS 班	△	△	△							
山口 第3団	BV 隊										○
	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	CS2隊	○	○	○	○	○					
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS隊(班)	○	○	○	○			△			
	RS 班	△	△	△	△						
山口 第4団	CS 隊					○	○	○	○	○	
	BS隊(班)					△	△	△	△	○	○
	SS 班									△	△
山口 第5団	CS 隊	○	○								
	BS 隊	○	○								
	SS 班	△	△								
防府 第1団	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班	△		△	△	△	△	△	△	△	△
防府 第2団	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	RS 班						△	△	△	△	△
防府 第4団	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS2隊	○									
	SS 班	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
防府 第5団	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班	△	△	△		△					△

団隊名	年度	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
防 府 第6団	CS 隊									○	○
	BS隊(班)	○	○	○	○	○	○	○	○		
	SS 班					△					
防 府 第7団	BS 隊			○	○	○	○	○	○	○	
	SS 隊							△	△	△	
秋 穂 第1団	BS 隊	○		○							○
小 郡 第1団	BV隊隊								○	○	○
	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	RS 班	△	△	△	△	△	△	△			



■第4地区

団体名	年度	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
宇部 第11団	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
宇部 第13団	CS 隊	○	○	○	○						
	BS 隊	○	○	○	○	○					
	SS 班	△	△	△	△	△					
宇部 第14団	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS隊(班)	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△
	SS 班	△	△	△	△	△	△	△	△		
宇部 第15団	CS 班	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	RS 班	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
宇部 第16団	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班			△	△	△	△	△	△	△	△
	RS 班										△
小野田 第1団	CS 1隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	CS 2隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 1隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 2隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	SS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	RS隊(班)				△	△	○	○	○	○	
山陽 第1団	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	RS 班							△	△	△	△



■第5地区

団体名		年度	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
下関 第1団	BS 隊		○	○								
下関 第2団	BS 隊		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班		△	△	△	△	△					
	RS 班					△	△					
下関 第6団	BV 隊										○	○
	CS1隊		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	CS2隊		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS1隊		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS2隊					○	○	○	○	○	○	
	SS隊(班)		△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	RS隊(班)				△	△	△	△	○	○	○	○
下関 第7団	BV 隊									○	○	○
	CS 隊		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	RS 班					△	△	△	△	△	△	△
下関 第11団	CS1隊		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	CS2隊						○	○	○	○	○	○
	BS 隊		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS隊(班)		△	△	△	△	△	△	○	○	○	○
	RS 班						△	△	△	△	△	△
下関 第15団	BS 隊		○	○	○	○	○	○	○			
	SS 班				△	△	△					
下関 第16団	BV 隊											○
	CS 隊				○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班						△	△	△	△	△	△
豊浦 第1団	BS 隊			○		○						
	SS 班			△		△						

■第6地区

団体名	年度	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
萩 第3団	BV 隊										○
	CS 隊		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
萩 第5団	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
萩 第6団	BV 隊										○
	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
萩 第7団	CS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	BS隊(班)	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○
長門 第1団	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS 班	△	△	△	△						
美祢 第2団	BS 隊	△	○		○	○	○				
三隅 第1団	BS 隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
須佐 第1団	BS 隊	○	○								
	SS 班	△									

註 1 ○印は隊登録、△印は班登録（隊登録する人数に満たない場合）

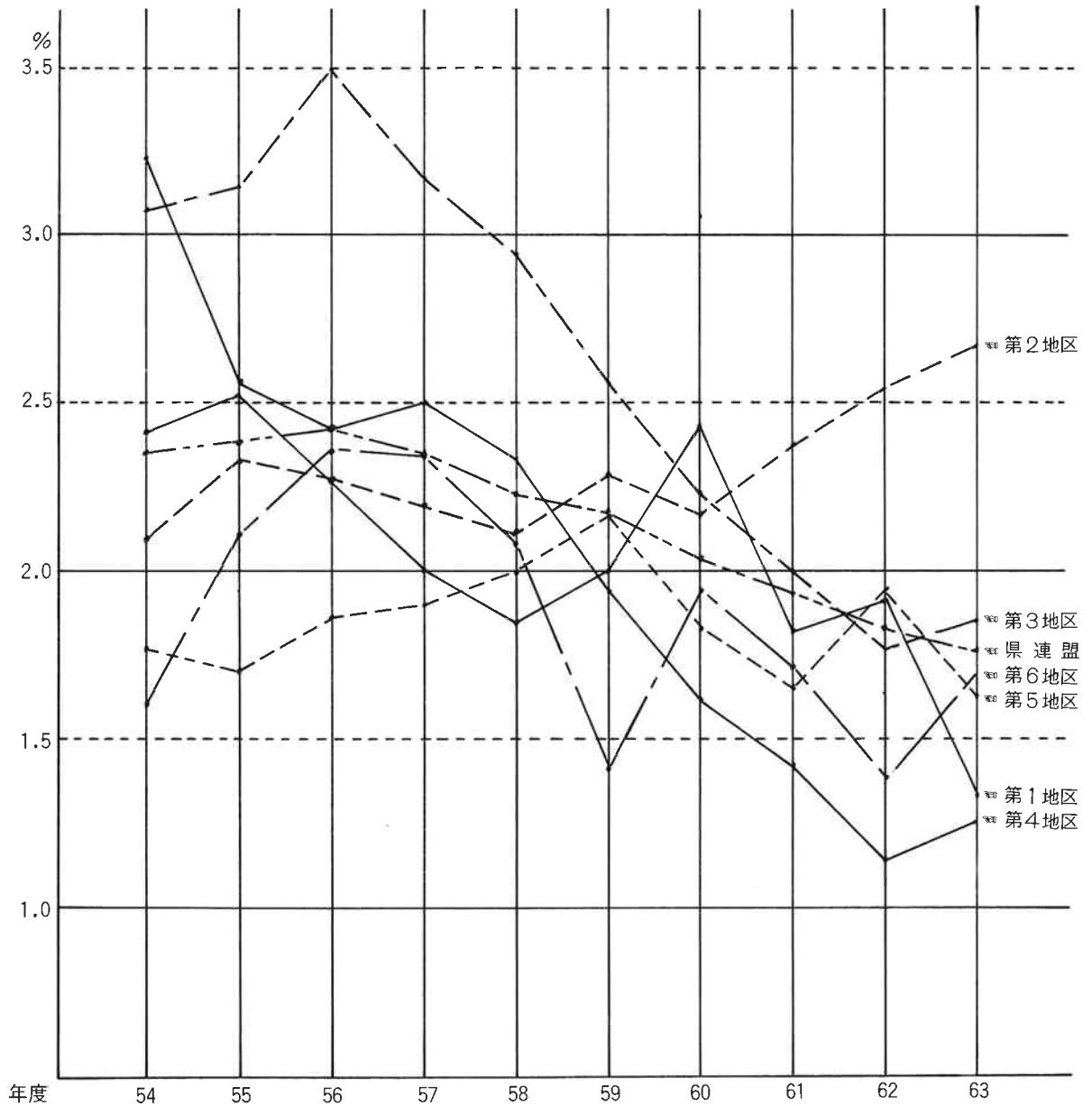
- BV隊（ピーバースカウト隊・ピーパー隊） スカウト2名以上
- CS隊（カプスカウト隊・カブ隊） スカウト10名以上
- BS隊（ボーイスカウト隊・ボーイ隊） スカウト12名以上
- SS隊（シニアスカウト隊・シニア隊） スカウト8名以上
- RS隊（ローバースカウト隊・ローパー隊） スカウト8名以上

2

- (1) ピーバースカウト（BVS）  
小学校就学直前の1月～小学校2年生
- (2) カプスカウト（CS）  
小学校2年生3学期～小学校5年生
- (3) ボーイスカウト（BS）  
小学校5年生～中学校3年生
- (4) シニアスカウト（SS）  
中学校3年生8月～19歳
- (5) ローバースカウト（RS）  
18歳以上

### カブスカウトの該当年齢児童数100人に対する割合の推移

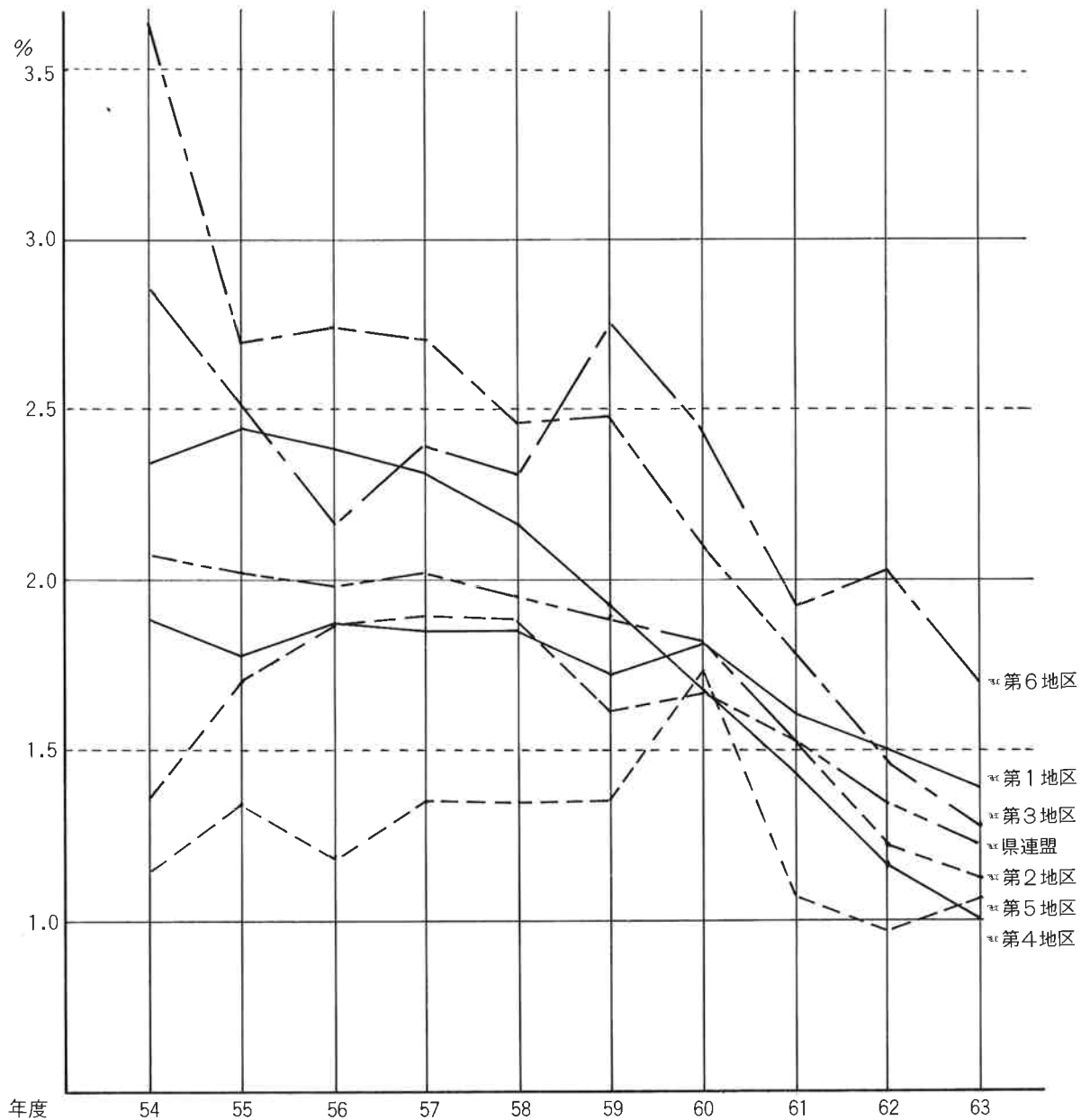
地区	年度	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
第1地区		2.43	2.53	2.27	2.00	1.81	2.00	2.43	1.81	1.91	1.34
第2地区		2.11	2.36	2.26	2.18	2.07	2.26	2.13	2.35	2.53	2.62
第3地区		3.06	3.12	3.51	3.18	2.93	2.56	2.20	1.99	1.71	1.82
第4地区		3.27	2.59	2.41	2.52	2.28	1.93	1.63	1.43	1.13	1.29
第5地区		1.77	1.69	1.81	1.87	2.00	2.14	1.81	1.64	1.96	1.58
第6地区		1.57	2.14	2.33	2.32	2.06	1.37	1.93	1.77	1.36	1.66
県連盟		2.39	2.40	2.42	2.33	2.19	2.14	2.03	1.92	1.81	1.73



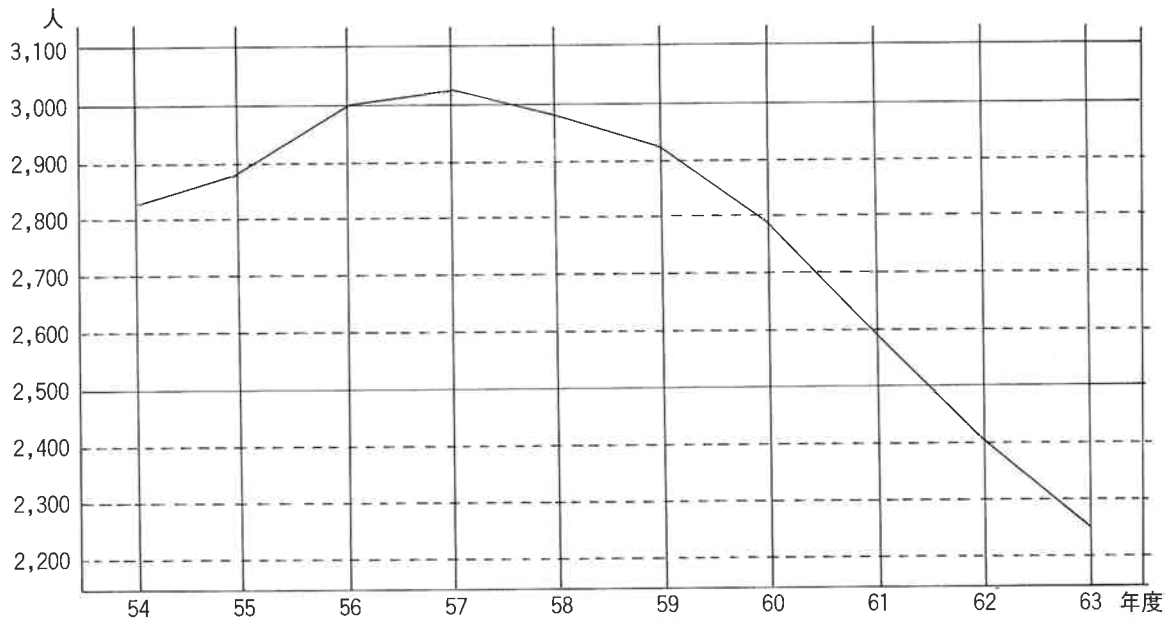


### ボーイスカウトの該当年齢児童・生徒100人に対する割合の推移

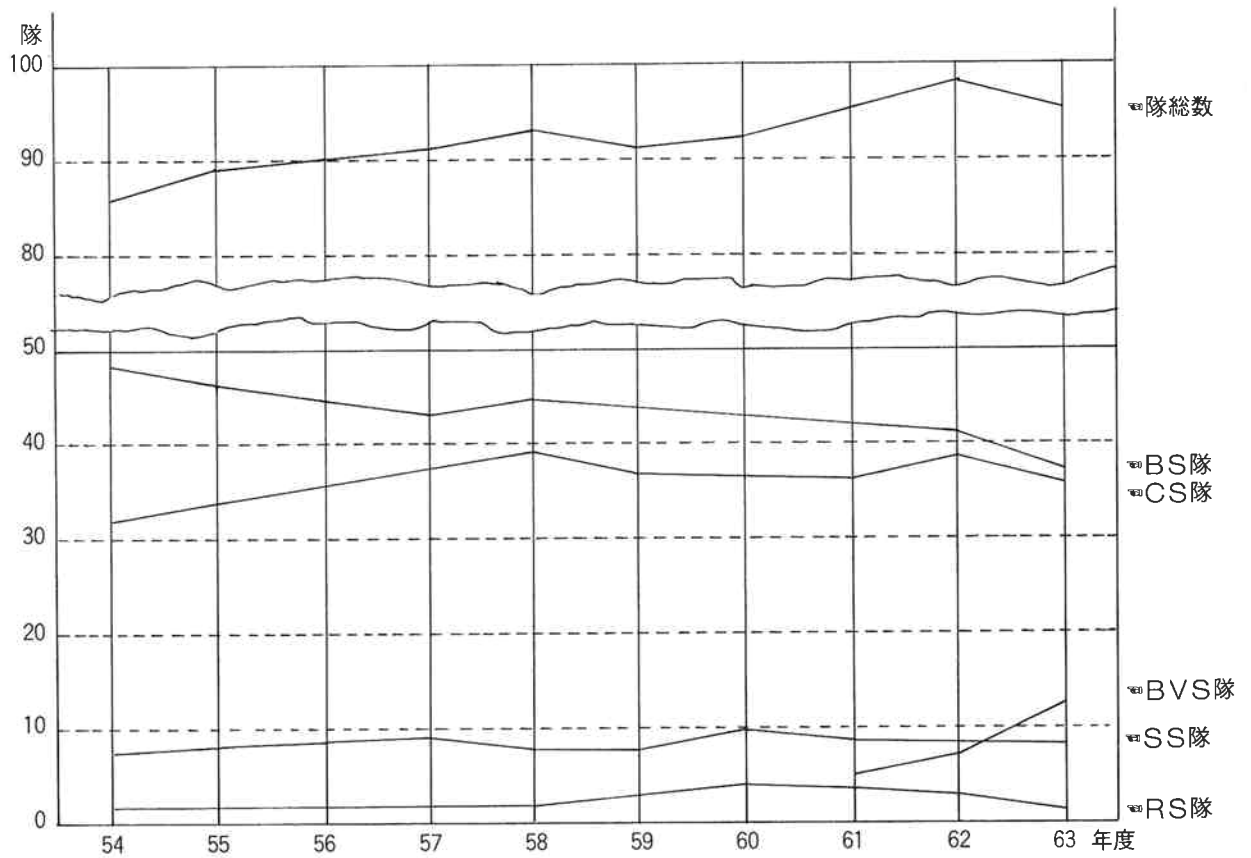
地区	年度	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
第1地区		1.92	1.80	1.87	1.83	1.84	1.72	1.77	1.57	1.50	1.40
第2地区		1.34	1.67	1.86	1.88	1.86	1.61	1.63	1.52	1.22	1.10
第3地区		3.76	2.69	2.75	2.71	2.47	2.49	2.12	1.79	1.49	1.27
第4地区		2.33	2.46	2.39	2.33	2.15	1.94	1.62	1.45	1.19	1.00
第5地区		1.13	1.37	1.19	1.34	1.33	1.37	1.72	1.05	0.99	1.05
第6地区		2.83	2.51	2.16	2.42	2.31	2.76	2.47	1.94	2.03	1.71
県連盟		2.09	2.01	1.98	2.02	1.95	1.90	1.75	1.51	1.35	1.22



### 最近10ヶ年の団数の増減

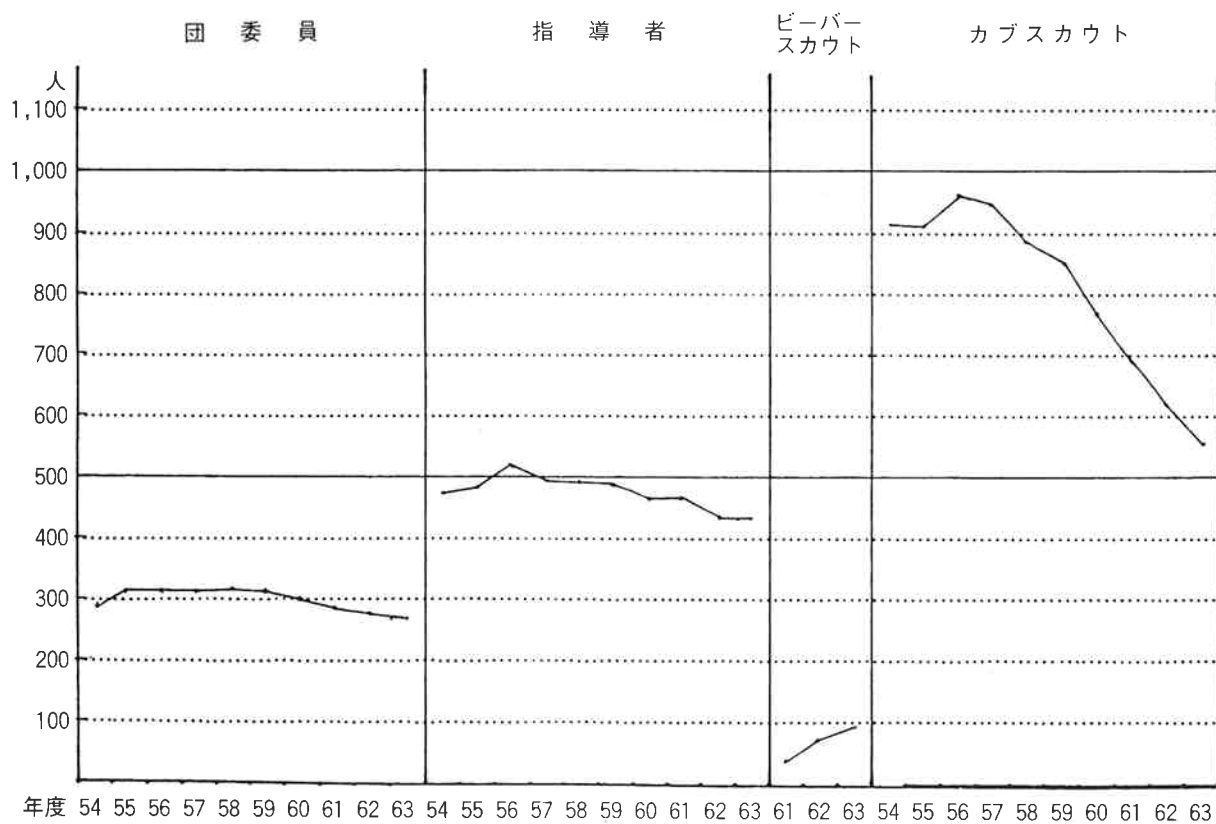


### 最近10ヶ年の部門別隊数の増減



## 昭和54年度～昭和63年度 登録状況の推移

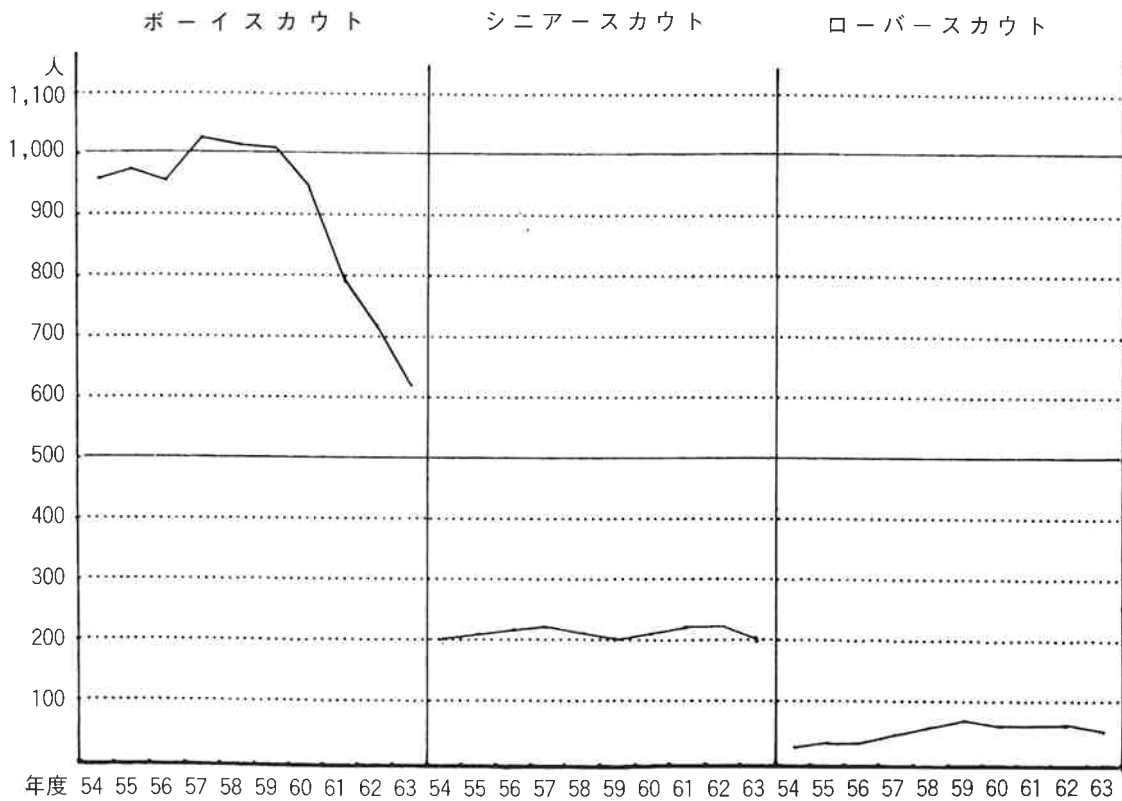
年度	団数	隊数(班数)	加 盟 員			ビーバースカウト			カブスカウト		
			団委員	指導者	スカウト	隊数	指導者	スカウト	隊数	指導者	スカウト
54	46	86 (27)	291	464	2,083				32	265	904
55	44	89 (26)	310	476	2,081				35	294	907
56	43	91 (27)	305	519	2,157				36	333	965
57	44	91 (30)	303	494	2,224				37	307	947
58	45	93 (35)	312	488	2,159				39	302	893
59	45	91 (29)	314	487	2,114				37	300	845
60	43	93 (30)	307	462	1,975				37	281	759
61	42	96 (30)	293	462	1,842	5	9	41	37	274	688
62	41	98 (29)	288	424	1,678	7	19	73	38	241	613
63	40	95 (25)	269	429	1,534	12	31	96	35	234	565





## 昭和54年度～昭和63年度 登録状況の推移

年度	ボーイスカウト			シニアースカウト			ローバースカウト		
	隊数(班数)	指導者	スカウト	隊数(班数)	指導者	スカウト	隊数(班数)	指導者	スカウト
54	47	182	949	7 (23)	15	199	1 (4)	2	31
55	45	160	923	8 (22)	20	213	1 (4)	2	38
56	45	161	939	9 (22)	22	216	1 (5)	3	37
57	44 (1)	162	1,014	9 (21)	23	212	1 (8)	2	51
58	45 (3)	162	1,004	8 (23)	23	200	1 (9)	1	62
59	44 (3)	161	992	8 (18)	24	207	2 (8)	2	70
60	43 (3)	153	938	10 (20)	24	204	3 (7)	4	64
61	42 (3)	154	789	9 (20)	21	222	3 (7)	4	57
62	41 (1)	136	712	9 (21)	26	220	3 (7)	2	60
63	37 (1)	136	621	9 (16)	27	197	2 (8)	1	55



## ボーイスカウト山口県連盟創立40周年



### あとがき

多くの方々と御尽力と御支援にささえられて、今年ボーイスカウト山口県連盟は40周年の記念すべき年を迎えることができました。

記念行事として、8月には徳山市で記念野営大会が盛大に開催され、つづいて記念誌の発行となりました。

30周年の記念誌に、それまでの県連盟の歩みがくわしく掲載されておりますので、今回はこの10年間の歩みと30年誌にもれておりましたものを記載しました。それと夏の記念野営大会を特集いたしました。

参加スカウトの感想文は、地域的にかたよりがありますが、感想文を寄せられた団が地域的に片寄りました結果ですので御容赦ください。

出来上がったものは、不備な点もあるかと思いますが、40年を迎えたことを期とし、スカウティングの反省と、今後の発展に役立てば幸甚に思います。

編集委員 井 関 澄 雄  
                  / 亀 山 俊 雄  
                  明 石 誠 一

創立40周年記念誌  
この10年間のあゆみ

平成元年3月 日発行

発行所 ボーイスカウト山口県連盟  
編集 徳山青写真工業株式会社  
印刷 徳山市相生町1-1



ボースカウト山口県連盟